

特定非営利活動法人

VOL.61

南国暮らしの会

2014年 夏・秋 季 号



アンコールワット(サンライズ)

平成26年9月6日



NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

(2014年 夏・秋季号)

目次

(敬称略)

ページ

平成26年度総会案内

平成26年度 南国暮らしの会理事長挨拶	No. 434	大野 悦子	1
平成26年度 通常総会議事録			2
平成26年度 会計収支予算書案について			4
平成26年度 役員会・支部長会議事録			5
平成26年度 役員・業務分担表			8
平成26年度 委員会の構成表			9

会員からの投稿

クアラルンプール支部活動再開に向けて	No.1682	守田 章	10
「南の会・説明会 in Sapporo 2014」	No.1285	桂 裕章	13
北海道おためし移住体験記	No.1207	宮原 正宇	17
ミャンマーへの旅(チェンマイからの小旅行)	No.1108	山田 智久	21
初めてのウズベキスタン	No.1619	鮫島 和枝	25
ダバオ、ベナン、チェンマイかけ歩る記	No.1719	安藤 元二	27

南国写真サロン

29

支部便り

北海道支部	No.1285	桂 裕章	33
東北支部	No. 498	氏家 孝	33
関東甲信越支部	No.1118	肥後 憲尚	33
東海支部	No. 843	土井 研一	34
関西支部	No. 173	平山 三雄	35
九州支部	No. 581	朝永 清寿	37
チェンマイ支部	No. 239	伊藤 寛	38
ベナン支部	No.1546	渡邊 照夫	38
ハワイ支部	No.1016	村林 修次	39
ダバオ支部	No.1261	藤本 晴久	40
バギオ・パンガシナン支部	No. 227	斎木 一	41

部会伝言板

総務部会	No. 996	歌田 晃一	42
会報部会	No.1309	青木 一義	42
会員部会	No.1108	山田美弥子	42
ネット部会	No.1578	山本 雅巳	43
広報部会	No. 513	青木 方子	44
支部推進部会	No.1244	金井 修二	44

友好団体紹介コーナー

44

南国暮らしの会 支部一覧

45

編集後記

45

平成26年度(第16期)南国暮らしの会総会のご報告とご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.434 大野 悦子

5月25日(日)に開催されました平成26年度総会で重任理事の信任を得、6月14日(土)に開催されました平成26年度第1回理事会に於きまして理事長に選ばれまして、その任を引き受けることとなりました。至らない身でございますが、理事や会員の皆様のご理解とご協力を得ながら務めてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、5月24日(土)に役員・支部長会を国内各支部長と理事、監事、相談役にご出席頂き、開催致しました。今年は、東北支部長も参加され、国内6支部長が、この1年間の活発な活動報告がなされ、次期の活動予定では、今年で東京都のNPO法人の認証を受けて15周年を迎えますが、その記念行事を予定しているとの報告もありました。また、会の運営につきましても積極的な意見交換を行う事が出来ました。そして翌日の、5月25日(日)に、平成26年度の定期総会では、会員の皆様のご協力によりまして、第1号議案から第5号議案まで賛同を頂きました。第5号議案で、数字の間違いがあり訂正させて頂きました。(詳細は、総会議事録をご覧ください。)

さらに、6月19日には、NPO法人としての義務であります各種書類の提出を法務局と東京都庁に出向きまして提出し、すべて受理されましたことを重ねてご報告致します。また、特許庁に会報の表紙や裏表紙に印刷されていますシンボルマークなどの商標権の更新手続きも致しましたこともご報告させて頂きます。

先程もご報告致しましたが、お陰様で、「南国暮らしの会」も東京都のNPO法人の認証を得ましてから15周年を迎えます。これを記念して、15周年記念行事が予定されておりますので、それぞれの支部での行事に参加して頂き、楽しく交流を深めて頂ければ幸いです。支部役員の方々には、お世話を頂くこととなりますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

また、昨年度から新入会員が増えてまいりましたので、ますます、交流を深めていって下さり、それぞれの滞在先の国々の方々との交流も深めて頂いて、その国々の文化や習慣を尊重し、様々なボランティア活動も続けて頂き、多くの方々が生きがいを感じられる楽しい会に発展出来ればと願っております。

最後に会の益々の発展と会員の皆様及びご家族の皆様のご健勝を願い、総会を終えてのご挨拶とさせて頂きます。



特定非営利活動法人南国暮らしの会
平成26年度（16期）通常総会議事録

1. 日 時：平成26年5月25日（日）午前10：00～11：30
2. 場 所：東京都港区芝5-18-2 港区立港勤労福祉会館 第一洋室
3. 正会員数：494名
4. 出席者数：305名（内、総会出席者36名、書面表決者269名）
5. 審議事項：
 - （1）第1号議案：平成25年度事業報告及び会計報告・監査報告について
 - （2）第2号議案：理事退任、選任理事の信任について
 - （3）第3号議案：監事退任、新任監事の選任について
 - （4）第4号議案：平成26年度事業計画案について
 - （5）第5号議案：平成26年度活動予算案について

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

司会の歌田理事は、今総会の表決権所持会員数が494名であり、出席者36名、委任状269名であることから定款第26条により本日の通常総会が成立することを説明し、定款第25条の規定により議長として会員No.581朝永清寿氏（九州支部長）を推薦し、満場一致で議長に選ばれた。議長は開会を宣言し、まず審議の進め方の説明を行い、引き続き議案の審議に入った。

議 案

第1号議案 平成25年度事業報告及び会計報告・監査報告について

大野理事長が平成25年度事業報告書に基づき詳細な事業報告を行った。次いで岩井理事が同年度の会計収支計算書、貸借対照表に基づき決算報告を行った。最後に大塚監事から、当会は同定款等に基づき適切に運営され、収支計算書はいずれも正確である旨の報告が監査報告書に基づき行われた。議長は第1号議案について賛否を諮り、満場一致で承認された。（書面表決者含む）

第2号議案 理事退任、選任理事の信任について

大野理事長から任期満了に伴う退任理事11名、重任理事7名、新任理事11名が理事会において選任されたとの説明がなされた。議長はその賛否を諮り、満場一致で信任され、被選者は就任を承諾した。（書面表決者含む）

①理事任期満了に伴う退任

No.489 加藤久子、No.750 小松勝正、No.755 岩井文哉、No.840 岩田彬、
No.1017 光城保之、No.1068 山科滋雄、No.1156 宇田秀樹、No.1161 永島和雄、
No.1178 長谷川愈晃、No.1230 吉野正博、No.1361 木村秀男

②重任理事

No.434 大野悦子、No.513 青木方子、No.816 有元義晶、No.996 歌田晃一
No.1108 山田美弥子、No.1309 青木一義、No.1388 寺田光江

③新任理事

No.843 土井研一、No.1207 宮原正字、No.1208 澁谷幸一、No.1244 金井修二、

No.1533 森川文枝、No.1537 鈴木元恵、No.1578 山本雅巳、No.1581 黒川敏彦、
No.1591 肥後信彦、No.1607 阿部滋敏、No.1612 堀江建夫

第3号議案 監事退任、新任監事の選任について

大野理事長から任期満了に伴う退任監事2名、重任監事1名、新任監事2名が理事会において推挙されたとの説明がなされた。議長はその賛否を諮り、満場一致で選任され、被選者はその就任を承諾した。(書面表決者含む)

①監事任期満了に伴う退任 No.1125 佐々木一信、No.1256 大塚真一

②重任監事 No.712 高田勝弘

③新任監事 No.750 小松勝正、No.1068 山科滋雄

第4号議案 平成26年度事業計画案について

大野理事長から平成26年度事業計画案に基づき説明がなされ、議長は同事業計画書案についてその賛否を諮り満場一致で承認された。(書面表決者含む)

第5号議案 平成26年度活動予算案について

岩井理事から平成26年度会計収支予算書案に基づき説明がなされた。一部に数字の誤記の指摘を受け、予算が変わるものではないが口頭で以下のように訂正し、満場一致で承認された。

会報2014年春号12ページ掲載の平成26年度会計収支予算書案を①～③の通り訂正。

①Ⅰ. 収入の部 2. 前期繰越 (誤) 3,288,150 (正) 2,536,127

(次期繰越収支差額、会報8ページ「実績(B)」の最下段行を参照)

②3. 収入合計 (誤) 7,298,250 (正) 6,546,227 (2. 前期繰越に連動して変更)

③Ⅱ. 支出の部 6. 次期繰越収支差額 (誤) 2,807,250 (正) 2,555,227

(2. 前期繰越に連動して変更)

これに伴い予算案の「差異(B-A)」欄は①396,725(予算書案では1,148,748)

②1,146,725(同1,898,748)、③601,725(同853,748)と訂正になります。

上記の訂正について大野理事長から承認の確認がなされた。

7. その他

大野理事長より平成26年度理事業務分担と理事、監事の紹介があった。

8. 議事録署名人の選任に関する事項

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、本日の議事をまとめるに当たり、総会議事録署名人としてNo.712 高田監事を選任することを諮り全員異議なく承認した。

議長は議事の進行に関し出席者全員の協力を謝し、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成26年5月25日

議 長	朝永 清寿	㊞
議事録署名人	高田 勝弘	㊞

平成26年度会計収支予算案について

会報2014年春号12ページ掲載の平成26年度会計収支予算書案(以下、予算原案)のなか、「本年度予算額」(B)」欄、「2. 前期繰越」に転記の誤りがあるところのご指摘があり、総会では、以下のように予算原案を①～③の通り口頭で訂正し、承認を頂きました。

また、掲示板に修正記事を掲載しましたが、会報にも以下の通り掲載します。

- ①Ⅰ. 収入の部 2. 前期繰越 (誤) 3,288,150 (正) 2,536,127
(次期繰越収支差額、会報8ページ「実績(B)」の最下段行を参照)
- ②3. 収入合計 (誤) 7,298,250 (正) 6,546,227 (2. 前期繰越に連動して変更)
- ③Ⅱ. 支出の部 6. 次期繰越収支差額 (誤) 2,807,250 (正) 2,555,227
(2. 前期繰越に連動して変更)

これに伴い、予算案の「差異(B - A)」欄は、①396,725(予算原案では、1,148,748)
②1,146,725(同、1,898,748)、③601,725(同853,748)と訂正になります。

以上、ご報告致しますと共にお詫び申し上げます。



平成26年度南国暮らしの会 役員会・支部長会議事録

日 時：平成26年5月24日(土) 13:00～16:30

場 所：品川第二区民集会所 第一会議室

出席者：大野理事長(No.434)、木村副理事長(No.1361)、加藤理事(No.489)、
青木(方)理事(No.513)、小松理事(No.750)、岩井理事(No.755)、
歌田理事(No.996)、光城理事(No.1017)、山科理事(No.1068)、山田理事(No.1108)、
永島理事(No.1161)、長谷川理事(No.1178)、寺田理事(No.1388)、
青木(一)理事(No.1309)、桂裕章北海道支部長(No.1285)、
氏家孝東北支部長(No.498)、肥後憲尚関東甲信越支部長(No.1118)、
土井研一東海支部長(No.498)、有元義晶関西支部長(No.816)、
朝永清寿九州支部長(No.581)、高田監事(No.712)、大塚監事(No.1256)

新理事候補者

No.498 土井研一、No.1207 宮原正字、No.1208 澁谷幸一、No.1244 金井修二、
No.1533 森川文枝、No.1578 山本雅巳、No.1581 黒川敏彦、No.1591 肥後信彦
No.1607 阿部滋敏、No.1612 堀江健夫 No.1537 鈴木元恵

永島理事の司会進行で役員会開催の挨拶ののち議題に入った。

1. 役員・支部長の自己紹介

大野理事長の挨拶ののち、出席者全員の自己紹介があった。

2. 役員・理事の選任について大野理事長より説明があった。

退任理事・監事：

木村副理事長、加藤理事、小松理事、岩井理事、岩田理事、光城理事、
山科理事、宇田理事、永島理事、長谷川理事、吉野理事、
佐々木監事、大塚監事

新任理事候補：

No.1207 宮原正字、No.1208 澁谷幸一、No.1244 金井修二、No.1533 森川文枝
No.1578 山本雅巳、No.1581 黒川敏彦、No.1591 肥後信彦、No.1607 阿部滋敏
No.1612 堀江健夫 No.1537 鈴木元恵

3. 平成24年度事業報告と南の会の現況

大野理事長より、事業報告があり、内容については会報春季号P3・4を参照。

NPO認証15周年記念行事を開催するので、次回理事会にて具体的な立案計画を進める。

4. 26年度事業計画・役員業務分担

大野理事長から26年度の事業計画の説明がなされ、(内容については、会報春季号P11参照)。
また、役員の業務分担について説明があった。(添付、役員・業務分担表参照)

凡例 ◎：部会長、○：副部会長

理 事 長 434 大野悦子
副理事長 996 歌田晃一
総務部会 ◎996 歌田晃一 ○1607 阿部滋敏、1310 青木一義、1537 鈴木元恵
1207 宮原正宇、1612 堀江健夫
経 理 ○13591 肥後信彦、1537 鈴木元恵
会報部会 ◎1309 青木一義、○1108 山田美弥子、513 青木方子、1208 澁谷幸一
1578 山本雅巳、1581 黒川敏彦
広報部会 ◎513 青木方子、○1388 寺田光江、1207 宮原正宇
H P 996 歌田晃一
ネット部会 ◎1578 山本雅巳、○843 土井研一、1581 黒川敏彦
会員部会 ◎1108 山田 美弥子、○1208 澁谷幸一、1388 寺田光江、1533 森川文枝
監 事 712 高田 勝弘、750 小松 勝正、1068 山科 滋雄
相 談 役 732 馬場 章介

5. 各支部の活動報告及び活動計画

(各支部の活動報告の内容については、会報春季号のp45～を参照)

①北海道支部 桂支部長より

今年度の目標として、サロン会充実を図りたいので7・8月札幌で開催予定。

北海道支部10周年記念事業を計画している、会員の増加を図る一因をして他支部の「この指とまれ」を同支部でも発案したい。

②東北支部 氏家支部長より

新会員が集まりづらいので苦慮している。現会員9名では主な活動がしづらい。

③関東甲信越支部 肥後支部長より

会員同士の親睦活動の展開、広範囲の会員の参加を目指している。

肥後支部長・永田副部長・寺田副部長の他20名の支部役員で構成をし、今期サロン会は年12回の開催を予定。

更に会員親睦を兼ねて「この指とまれ」海外1回・国内2回・ミニサロン会を予定している。
11月に開催される「ロングスティフェアの支援」。

④東海支部 土井支部長より

来期の定例会は11回を予定。

新会員加入に増員に「ロングスティフェア開催」への参加を予定している。

フェア開催時での入会に関して何らかの特典として会費の割引が対応できないかとの提案

があった。

更に永島理事より、フェア等で直接入会する場合は、割引できるかどうか理事会で検討し、結論を出す。

⑤関西支部 有元支部長より

広報活動の一環として、関西旅行博覧会・ロングスティ財団の一員として参加、古い会員の引き留めよりも新会員の獲得の増加を目的としている。

15周年記念として、九州支部との交流会を山口・広島で開催を計画

⑥九州支部 朝永支部長より

役員会においては、広範囲に役員が分散しているのでSkypeを活用。

掲示板の利用が少ない分、九州支部内ではメーリングリストを活躍している。

新聞の掲載により、反響があり、会員増加に役立っている。

6. その他

- 歌田理事より、NPO設立15周年記念事業について、支部よりのアイデアの募集の呼びかけがなされた。

肥後支部長より、対外的活動である各地で開催される「ロングスティフェア」に15周年の一環として南国暮らしの会の「横断幕」・「ロゴ入りのスタッフ着用のジャンバー等」作成の提案があった。

- 青木(一)理事より、会報に支部を関しての幅広い会員からの投稿お願いがあった。

以上で役員会・支部長会を終了した。

平成26年 5 月24日

NPO法人 南国暮らしの会

議 長

大野 悦子 (印)

議事録署名人

永島 和雄 (印)

平成26年度 役員・業務分担表

◇ 理事業務分担 凡例：◎部会長 ○副部会長

2014 月 5 月 19 日現在

部門担当	担当理事	業 務 内 容
I 理事長	434 大野 悦子	・会総括代表・総会、臨時総会招集・現状情報収集・資産管理 ・理事会、役員会招集・理事会議長・官庁関係資料の提出
II 副理事長	1361 木村 秀男	・理事長の補佐 ・各部会総括
総務部会 (事務局)	◎ 996 歌田 晃一 ○ 1607 阿部 滋敏 1207 宮原 正宇 1309 青木 一義 1537 鈴木 元恵 1612 堀江 健夫	・定款（会則）等の改廃・日常運営案の作成・予算案の作成・官庁関係資料の作成 ・総会、例会、懇親会、催しの等企画及び実施、同会費徴収、テーマ策定 ・会場設定、運営、記録、発表、総会議事録作成・各委員会のまとめ及び確認 ・理事（役員）会テーマ策定資料・理事（役員）会招集実施（会場設定、運営管理、記録、発表）・理事（役員）会議議事録作成・税務関係（法人税、資産税管理等） ・南の会必携編集作成 ・15周年記念行事
(経理)	○ 1591 肥後 信彦 1537 鈴木 元恵	[経理業務]・入会金、年会費徴収・一般収支・金銭出納記録・決算の事務 ・会費納入票回送
会報部会	◎ 1309 青木 一義 ○ 1108 山田 美弥子 513 青木 方子 1208 澁谷 幸一 1578 山本 雅巳 1581 黒川 敏彦	・会報等の原稿収集、編集、整理、校正、印刷、製本、発送 ・会員への情報提供及び会員からの情報収集 ・年3回（新年・春・夏）発行
広報部会	◎ 513 青木 方子 ○ 1388 寺田 光江 1207 宮原 正宇	・「南の会」の対外的広報活動・マスコミ取材窓口（ロングステイ財団窓口） ・他機関への投稿・新聞、雑誌等の関係情報収集
(HP)	996 歌田 晃一	[HP 業務]・「南国暮らしの会」HP 作成／修正／保守
ネット部会	◎ 1578 山本 雅巳 ○ 843 土井 研一 1581 黒川 敏彦	・南国掲示板（BBS）運営 ・会員メールアドレスの管理
会員部会	◎ 1109 山田 美弥子 ○ 1209 澁谷 幸一 1388 寺田 光江 1533 森川 文枝	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合せ者の資料等の作成及び発送 ・会員名簿作成・問合せ向け「南の会」案内書編集作成 ・会員からの情報収集・会員証発行 ・会報等の送付先の掌握及び宛先シール作成（会報部会と連携）
支部 推進部会	◎ 1244 金井 修二 ○ 816 有元 義晶 1612 堀江 健夫	・支部統括・支部活動支援

監事	712 高田 勝弘 750 小松 勝正 1068 山科 滋雄	・理事の業務執行状況の監査・この法人の財産の監査 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し報告又は所轄庁に報告 ・理事会業務執行に対する会員苦情等の精査
----	--------------------------------------	--

理事、監事の業務は本分担表に記載なき事項でも、本会定款に記載ある事項はこれを優先する。

相談役	732 馬場 章介	・会運営のキャリアを活かし理事長及び理事への支援・その他
-----	-----------	------------------------------

平成26年度 委員会 の 構 成 表

平成 26 年 6 月 15 日

◆委員会について (委員の委嘱状は発行しない。但し、この構成表が全会員に配布される。)

- ・部会は部会運営上の調査・研究等を委員会に委嘱することができる。
- ・理事会は特別委員会を開設し、特命事項を委嘱することができる。
特別委員会は理事会委嘱の特命事項の調査・研究を行う。
- ・委員会の委員長、副委員長は理事会に於いて選任し、長はその任を遂行する。
- ・委員長、副委員長は理事が兼任し、当該部会に委員会の議事録にて経過報告を行う。
- ・構成員は委員長に一任する。但し理事会にその構成員の報告を行う。
できるだけ有職会員の意向も取り入れた会の発展に寄与する人選をする。
- ・委員会はできるだけ半年から一年以内に答申を行う。案件の答申は部会経由で総務部会にてチェック後、理事会に諮り、決定後は当該部会にて業務を遂行する。但し、単発的な案件は理事会決定後、実行委員会で業務の遂行を行うこともある。
- ・特別委員会の委員長はその答申を理事会に提出する。決定は理事会に委ねる。

◆委員会および構成員 凡例：◎委員長 ○副委員長 ＊理事以外 (凡例ごとに会員No順掲載)

総務委員会	◎996 歌田晃一 ○1607 阿部滋敏 434 大野悦子 1207 宮原正宇 1537 鈴木元恵 1591 肥後信彦 1612 堀江健夫	
規定・必携編集委員会	◎996 歌田晃一 ○434 大野悦子 1591 肥後信彦 1607 阿部滋敏 ＊1017 光城保之	
支部推進委員会	◎1244 金井修二 ○816 有元義晶 1612 堀江健夫	
経理委員会	◎1591 肥後信彦 ○1537 鈴木元恵	
会報編集委員会	◎1309 青木一義 ○1108 山田美弥子 513 青木方子 1209 澁谷幸一 1578 山本雅巳 1581黒川 俊彦	
広報委員会	◎513 青木方子 ○1388 寺田光江 1207 宮原正宇 ＊1118 肥後憲尚	
HP委員会	◎996 歌田晃一 ○513 青木方子 ＊1391 十河和夫 (北海道支部：＊245 佐藤真理子、九州支部：＊581 朝永美代子)	
ネット委員会	◎1578 山本雅巳 ○843 土井研一 1581 黒川敏彦 ＊1178 長谷川愈晃	
会員担当委員会	◎1108 山田美弥子 ○1209 澁谷幸一 1388 寺田光江 1533 森川文枝 ＊923 永田隼人 ＊1230 吉野正博 ＊1357 黒崎邦夫	
記念行事委員会 (15周年記念行事)	◎996 歌田晃一 ○1607 阿部滋敏 434 大野悦子 513 青木方子 1244 金井修二 1309 青木一義 1591 肥後信彦	
特別委員会	事業拡張調査委員会：都度任命	
	苦情処理委員会：都度任命	
国内支部	・北海道支部長 1285 桂 裕章 ・東北支部長 498 氏家 孝 ・関東甲信越支部長 1118 肥後憲尚 ・東海支部長 843 土井研一 ・関西支部長 173 平山三雄 ・九州支部長 581 朝永清寿	
海外支部	・マニラ支部長代行 999 中山恒夫 ・セブ支部長 1124 田上 篤 ・バギオ・パンガシナン支部長 227 斎木 一 ・ダバオ支部長 1261 藤本晴久 ・チェンマイ支部長 239 伊藤 寛 ・ペナン支部長 37 野一色信正 ・ハワイ支部長 1016 村林修次 ・ゴールドコースト支部長代行 586 磯崎興志 ・バンコク支部長(現在不在) ・クアラルンプール支部長(現在不在)	

クアラルンプール支部活動再開に向けて

関東甲信越支部 No.1682 守田 章

始めに

ロングステイ先人気ランキングⁱで不動の一位を占め、また今夏の海外旅行先でも上位に位置しているマレーシア。それ故マレーシアの首都であり最大の都市クアラルンプールには長期をはじめとして短期、観光を目的として季節を問わず多くの日本人が滞在されているのが実感されます。この地では日本人、特に年金生活者の存在感が高まる一方で、残念ながら「南国暮らしの会」(以下:「南の会」)活動は全くその面影がありません。過去には「南の会」クアラルンプール支部が作られ日本からの訪問者に情報提供などの活動を行っていたと聞いていますが、ここ数年は会員間の交流も途絶え活動を中断していました。この度クアラルンプール支部の活動再開に取り組み、設立の目処が立ちましたので会員の皆様に広くお知らせしたく寄稿いたしました。

ロングステイ人気No.1の理由

始めに、なぜマレーシアがロングステイ人気No.1を維持しているのか、私の経験をもとにご説明したいと思います。

10年ほど前にクアラルンプールに赴任の機会を得ました。赴任前のマレーシアの印象は、日系企業が多く進出しているものの熱帯特有の住みにくい土地と想像していました。しかし「住めば都」の例え通り、日本人にとってこれほど安全に快適に住める都市は他にないのではないかと思えるようになりました。

その第一の理由は国民が日本人に対して尊敬にも近い憧れと親しみを持っている事でした。当時の首相マハティール氏の「Look East政策」(日本に学び、先進国の仲間入りをする。)が浸透し、日本人を師匠とも良き協力者とも認めているようでした。近年は経済的

に中国、韓国の影響力が高まっており、必ずしも日本を第一のパートナーとは見なさない傾向が垣間見られますが、一般市民としてはまだまだ日本が頼りになる存在としてあり続けています。長期滞在をするときに最も重要な要素は安全に安心して暮らせるのかという点でしょう。外地に住む以上は安心・安全には常に気構えを持てなくてはなりませんが、クアラルンプールは比較的落ち着いて生活が出来る地であると思います。



第二の理由は生活インフラが整っている事です。日本や欧米に比べて見劣りする点も多くあります。しかし生活水準(物価は日本の1/3、今でも1/2)を勘案すれば普通の生活に支障のない程度にインフラが整っていると評価すべきだと思います。特に道路網、インターネット(Free Wi-Fiサービス)は日本以上に充実しています。スマホの通信料金も日本ほど高額にはなりません。医療関係も日本人医師や日本で学位を取り日本語が堪能な医師が常駐するクリニックや総合病院があり緊急時でも適切な処置を受けることが出来ます。過剰検査の傾向も無きにしもあらずですが、年老いてからの生活には重要な要素と考えます。

第三の理由は英語が通じる事です。クアラルンプールに限れば住民のほぼ全員が英語を理解し話す事が出来ます。英国の統治が続いたこともあり、英語を理解することが稼ぐう

えで必須である事がその理由と思われます。また、マレーシアは多民族国家であるが故に日常の言語としてたくさんの言語が使われていて、共通言語としてのマレーシア語と併せて英語を民族間の意思疎通の手段となっている事も大きな理由に挙げられます。例えば一口に中華系マレーシア人と言っても広東系、福建系、客家系など独特の言葉を話しますので、相互の会話は英語と言うこともしばしば耳にすることです。しかし、彼らもnative speakerではないため文法も言い回しも単純化された所謂Manglishを使うことが多く、我々日本人にとっても取り付き易く、臆することなく使うことが出来ます。また、マレーシア語の基になったBahasa Melayuは文字のない言語であったため、英国領時代に発音に則したアルファベット表記を採用しました。お蔭さまで字を見れば読むことはできます。これは大切なことで、道路標識や看板を見て何となく理解することが出来ます。見知らぬ土地に行ったときに看板を見てなるほどね…と思えるのも読めることの為せる業です。



以上の理由に加えて丁度2002年にマレーシアの長期滞在Visa制度がSilver-hair program (何んとも嫌味な名称) からMM2H program に変更になり日本人にとって取得しやすくなったこともあり、定年退職後にロングステイをすることになったらマレーシアのクアラルンプールと決めて準備を始めました。2013年3月から実際に住み始めて、考えていた通

りだと思うところもあり、そんなはずではと思うところもありますが、総じて思惑通り満足した生活を送ることができています。

日本人会の効果

嬉しい誤算はクアラルンプール日本人会活動が活発なことです。赴任当時は平日は仕事、休日はゴルフの生活で日本人会など全く関心がありませんでした。退職をしてしまうと時間がたっぷりあり過ぎ。日本人会の愛好会活動は、暇を持て余したりタイア組にとって天からの授かりもののような存在です。月会費RM70+taxは決して安くありませんが、時間を持て余して悶々とするよりは、得意な趣味を活かしてスキルの向上や友人を得られるメリットを考えると元は充分に取れると思います。その様な背景から減少傾向にあった日本人会会員数は長期滞在者の増加に伴い、ここ四年間は再び増え続け、現在は2100名を超えるまでになっていますⁱⁱ。日本人会活動が充実する中で「南の会」支部活動の必然性が薄れてしまったことは無理からぬことと思います。



しかし、短期でクアラルンプールを訪問される会員にとっては事情が違うのではないのでしょうか。現地にお世話できる組織があれば気後れなく訪問することができるし、ロングステイの有益な情報も得られることになります。

支部活動再開の準備

「南の会」入会以来、山科理事(現監事)の強いお勧めもあり、クアラルンプール支部の

再開を模索しておりましたが、滞在して日も浅く何処から手をつければ良いのか思案しておりました。ここで役に立ったのが日本人会の愛好会活動でした。入会その日から全員がお友達です。皆さんとお話をしているうちに、クアラルンプールに6年もお住まいの二瓶ケイ子さんにお会いすることが出来ました。そのうちにペナンから転居してこられた池田諭さんも愛好会に参加され、幸いにも愛好会を通じて強力な仲間が集まる事が出来ました。この3名で「南の会」会員探しを始めることから始めることにしました。会員名簿や会報の情報を参考にメールでの会員集めです。現在のところ支部参加の快諾を頂いた会員は8名と少数ですが、徐々に支部の形ができています。



6月、7月には日本からの訪問会員をお迎えすることができました。少人数での対応のため納得頂けたか疑問ですが、海外支部活動

の第一歩を踏み出したと認識しています。

「南の会」会員の皆様には新生クアラルンプール支部をこれからも見守って頂きたくお願いいたします。

今後の活動予定は以下の通りです。

- ① 8月11日に設立総会を開催します。今後の活動方法と役員の選任をします。
- ② 本部へ支部設立の承認を申請します。承認されれば正式発足です。
- ③ 引き続き会員の把握を行います。

以上、ロングステイを志し支部活動再開準備までをまとめてみましたが、最後にこの場を借りてお願いをいたします。

☆現在クアラルンプール市或いはその周辺にお住まいの「南の会」会員の方は下記連絡先に一報をお願いします。クアラルンプール支部は少数の所帯のため難しい規則はありません。あくまでも会員相互の親睦と情報交換の場と考えていますので、遠慮されることなく登録をお願いします。

以上

連絡先：

No.1682 守田章

e-mail : akirmori@hotmail.co.jp

携帯：017-2960995

-
- i ロングステイ財団調べ
 - ii クアラルンプール日本人会設立50周年史



「南の会・説明会 in Sapporo 2014」

北海道支部 No.1285 桂 裕章

1. 初めての「南の会の「説明会」の開催にむけて(準備)

南の会の一般向けPRと会員勧誘を図るために説明会を開催しましたので、ここに顛末も含めて報告します。

現在、北海道支部の会員は44人。昨年10周年を迎えた。年に2回の総会、情報交換会の出席会員数も発足当初の40人程から最近では20人前後と減少し、その活動もマンネリ化傾向にあった。そして、会員数も低迷する状況が続いていた。最近では支部としても、何らかの対応策が迫られていたところであった。

こうした中、この5月19日付で北海道新聞の生活面に「南の会・北海道支部」の記事が掲載された(P15参照)。以前に同新聞社から支部長として、ロングステイの取材を受けていたものであった。この記事はカラーの暖かな南国のイラストが一段と目を引くものだ。内容も読みやすく読者にも分かりやすい、と感じる。しかし、報道された後これからが支部として本当に大変だった。

来月の6月14日(土)には支部総会をも控えていた。

この記事には、この支部の総会のゲストへの参加もメールで募っていた。新聞掲載の翌日から、問い合わせが殺到。一応問い合わせ先を事務局のメールにしたのだが、新聞社経由で私の携帯電話にまで問い合わせがかなりの件数があった。

結果、総会(情報交換会)へのゲスト参加申し込みは何と132人、南の会の問い合わせは49人の計181人にも達したのだ。予想をはるかに超える反響の大きさに、新米の支部長もうれしい悲鳴を上げた…(笑)。

まず大きな問題は、総会の会場の収容人員は45名しかないことであった。(例年の総会は

20数人の会員のメンバーと数人のゲストで、会場はいつも空きのある状態が続いていたのだが…)想定外の状況に、至急役員会を招集して次のことを決めた。

- ・今回の総会(6月14日)は取り敢えずメンバーの会員のみで行うこと。(会員の参加申し込み20人)
- ・応募のあったゲストへの「南の会の説明会」を、後日新たに開催すること。
- ・初めての大規模な支部のイベントなので、特別なプロジェクト・チームを作って対応すること。総括リーダーには、前副支部長の松村久一さん、ゲスト対応担当世話役には、元支部長の工藤俊一さんを中心にそれぞれ会員が協力することとした。マスコミ対応と本部との連絡調整は支部長の担当とした。
- ・200人以上を収容できる会場は日中には確保できず、数日後に、止むを得ず料金が高いが週末の夜間で空いていた、7月5日(土)18:00からの札幌市厚別区民センター・ホールを会場として予約することとなった。

2. 申し込みのあったゲストに送った開催案内文

皆様へ

南の会(NPO法人 南国暮らしの会)
北海道支部

この度は南の会総会への参加の申し込みをいただき、どうもありがとうございます。

実は皆様の参加申し込みが非常に多数に上ったため、会場の定員を大幅に超過してしまい、ゲスト様の参加を受け入れることが出来なくなりました。

つきましては、下記のとおり、新たに説明

会を別会場にて開催することに致しました。皆様には申し訳ありませんが、この説明会に参加希望の方は下記により新たに参加の申し込みをしていただくこととなりましたので、ご案内いたします。

「南の会の説明会」のご案内

- ・ 日 時 平成27年 7 月 5 日(土)、
18:00~20:00
- ・ 会 場 札幌市厚別区民センター
(厚別区厚別中央1条5丁目3)
区民ホール 電話:011-894-1581
(JR新札幌駅、地下鉄新さっぽろ
駅より、徒歩約5分)
- ・ 説明会内容(予定)
 - (1)北海道支部長挨拶 ……18:00~18:10
 - (2)南国の会本部説明 ……18:10~18:30
「南の会について」歌田晃一(副理事長)
 - (3)チェンマイでの滞在体験
工藤元北海道支部長 ……18:30~18:50
休憩 ……18:50~19:00
 - (4)ニュージーランドのホームステイ体験
池田北海道支部会員 ……19:00~19:20
 - (5)質疑応答 ……19:20~20:40
 - (6)閉会の挨拶
- ・ 会費 100円(1人)
- ・ 申し込み方法
参加者の氏名・年齢・住所・連絡先(メールアドレス、電話、Fax)をご記入のうえ
お申し込みください
- ・ 参加の申し込み先(メールアドレス~誤りのないよう注意してください)
ksyun99@gmail.com
(南の会北海道支部、総務担当代理)
- ・ 申し込み締切日
6月13日(必着)
- * 必要事項を記載して申し込みされた方は、
参加者として登録いたします。
当日は直接会場にお越しください。そして
受付をしてから入場をして下さい。

*なお当日参加できない方は、南の会のホームページにも活動内容や入会案内などが載っておりますので、どうぞご覧ください。
<http://www.minaminokai.com/>

3. 7月5日「南の会説明会」開催日

当日のゲストの参加者は開催が急遽昼から夜間になったことなどから、当初より減って67人となった。支部会員の応援者も10数名協力をいただき、会場の設営や受付などなど準備も整った。本部から南の会の講演者として、歌田晃一副理事長(理事長代理)にもご参加いただいた。また当日は、北海道にロングステイ中の理事の宮原正宇さんにも説明会の開催に参加、ご協力をいただいた。

当日の参加ゲストには、「南の会」本部が作成した新しいチラシも配布した。



説明会受付



ゲストの参加者、67人

せいかつ

子ども

シニア

南国暮らしの会
北海道支部

割安で気楽に海外滞在

「シニアになって外国での一時滞在や長期滞在はあこがれだが、情報もないし仲間もない」。そんな悩みに応えてくれるのがNPO法人南国暮らしの会(東京、通称・南の会)。北海道支部(札幌)もあり、会員は冬を中心に東南アジアなどで

の生活を割安で楽しんでいる。南の会は全国組織で正会員と家族会員合わせて約千人。北海道を含め国内の6支部のほか、タイ、フィリピンなど海外にも邦人をつくる支部がある。このネットワークから得られる海外生活の豊富な情報がメリット

だ。北海道支部は2003年に発足。正、家族会員合わせて男性41人、女性38人の79人。札幌や近郊の50〜80代で、旅慣れた女性が多い。支部長の桂裕章さん(67)は会員の外国暮らしを

「移住ではなく、1〜3カ月ほど暮らしながら旅を楽しんでいます」と説明する。

行き先はタイ、マレーシア、フィリピンなど東南アジアのほか、オーストラリアやニュージーランド。過ごし方は男性に人気のゴルフをはじめ、釣り、テニス、バドミントン、サイクリング、社交ダンス、写真、手芸と多彩だ。ある60代の男性は毎年、長期間ゴルフさんまいの生活で「血圧が下がって体調もいい」と笑顔を見せる。ただ楽しいだけではない。支部長の桂さんは4月に知人とオーストラリア・パースでのホームステイで、みっちり英会話の勉強をした。き

気になる費用はどうか。例えばタイなど東南アジアの物価は日本の5分の1程度。夫婦2人で広いコンドミニアムを借りて家賃は月5万円ほどのところがある。往復の航空機の格安チケットを含め2〜3カ月の滞在費は、過ごし方によってその間の道内での生活費より安くつくともあるという。



注意点もある。東南アジアでは大気汚染が問題の地域もある。生水や夜の一人歩きを避けるのももちろん、冬の北海道とは極端に気候が違うので体調管理にはくれぐれも注意を。桂さんは海外滞在の心構えと魅力をこう語る。「行動は自己責任が原則ですから、安全第一の心がけが必要です。そして外国で暮らせば、日本や北海道の良さも見直しますよ」

(編集委員・福田淳一)

南の会北海道支部は本年度の総会を6月14日午後1時15分から、札幌市中央区北2西7の「かでる2・7」で開く。ゲストも歓迎で資料代が100円。申し込みは5月30日までに、支部事務局の電子メール que_senado@yahoo.co.jp。会への問い合わせは電子メールで。



参加者の方々からたくさんの質問も出たが、本部及び支部の役員の分かりやすい説明がなされ、いろいろとあったものの盛会のうちに初めての説明会を無事に終了することができた。

その後、会場を変えて副理事長の歌田さんを始め会員有志で、反省会を行いおおいに盛り上がりました。



南の会・本部説明

この紙面では書けないほど、想定外のいろいろな多くの問題が噴出したが、会員の皆さんのお蔭で何とか乗り切ることができました。これも本部及び支部の会員の皆さんのご協力ご支援によるものと、深く感謝しております。

雑駁ではありますが、以上説明会開催の報告といたします。



歌田副理事長の答弁



北海道おためし移住体験記

関東甲信越支部 No.1207 宮原 正宇

北海道の北広島市が主催の、「おためし移住体験」参加希望者募集の情報が舞い込んだのは今年の5月24日、南の会の全国支部長会議が品川で開催され、今年から南の会の理事に内定していた私も、会議にオブザーブ参加致しました。

その席上、北海道支部長の桂裕章氏より同氏の居住地北広島市が、近年人口6万人を割り込んだことを受け、今年から定住人口増加策の一環としての「おためし移住事業」を企画し、7月1日からの初回入居希望者の募集を開始したとの情報チラシを頂きました。

道庁の調べでは、道内179市町村のうちすでに85市町村が「ちょっと暮らし制度」としてこの事業を手掛けており、利用者数は年々増え、昨年度はざっと2千人。

一番人気は釧路市とのことであり、特に7～8月のハイシーズンについてはどこの市町村も半年前の1～2月中に抽選で入居住宅の全てが埋ってしまうとのこと。

私も以前からインターネットの移住・交流ポータルサイトの「くらすべ北海道」や、北海道移住促進協議会の発行による冊子、「北海道生活体験まるごとガイド」等で見聞し、一度は体験してみたいと関心を寄せていた矢先であったので、チャンス到来とばかりその場で桂氏に応募の意思表示をしたところ、桂氏も快諾されて、地元に戻るとすぐに市役所に掛け合い、本来抽選が原則のところ、初年度でもあり「南の会」としての推薦枠を優先するよう強力に申し入れて頂いたようです。

桂氏の地元でのお顔の広さも功を奏しお陰様で申込書提出から10日後の6月16日に北広島市の「おためし移住体験」の第一号入居者としての確定通知があり、7月1日から15日まで2週間のシーズンステイに向け女房

共々、取り急ぎ準備を開始しました。

滞在中は夫婦共々、地元でのゴルフと周辺観光を楽しみにしており、したがって広域北海道では車が必須ですが、さりとてレンタカーは高すぎるということで、初体験ではあるが、マイカーによるフェリー航路を選択しました。

ちなみに私の家は埼玉県鶴ヶ島市にて、フェリー乗船港の茨城県の大洗港までは、高速道で約150kmを走り、そこから往路は大洗港から苫小牧港までの太平洋航路を、復路は苫小牧港から新潟港までの日本海航路のチケットをインターネット予約しました。

チケット代は、車一台と2人分の乗船賃を含め、往路が直前申込みのため、60歳以上のプラチナ割引のみで40,940円、復路は28日以上前割引30%適用で28,670円でしたが、値段は部屋のグレードと乗船時期によりかなり幅があり、それでも夏休みシーズンを外れた分だけ、安く済んだようです。

次に入居住宅物件ですが、木造平屋の一戸建て(86㎡)、3LDKで6畳の和室と6畳の洋間2部屋、10畳の居間と6畳の台所、浴室、トイレ付にて、もと教職員住宅であったものをリフォームしており、大変綺麗に整えられ、家具、電化製品、食器、台所用品等、必要なものは全て完備し、おまけにWiFi無線も設置され自転車2台も常備されておりました。

家賃は1ヶ月66,000円(冬季は82,000円)にて、私の場合15日間で日割りもOKとのこと、33,000円(1日当たり2,200円)ですが、電気、ガス、水道代と貸布団代(4人分)、wifi使用料も全て込みの格安値段には、少々驚きました。

6月30日、マイカーに荷物を満載して夫婦で出発、大洗港より18時半に出航しフェリー



に揺られること一昼夜、途中波穏やかで心配された船酔いもなく、翌7月1日の13時半に無事、苫小牧港に到着、その足ですぐに北広島市役所の担当課窓口を訪問し、部長、課長、担当主査の皆様にご挨拶、その場で諸手続きと家賃支払を終え、すぐに市役所から車で5分の入居住宅へ案内されました。

私達夫婦が北広島市にとってこの事業の初入居者であるため、簡単なセレモニーを行う旨、聞いておりましたが、住宅に着いてびっくり、北海道新聞社、朝日新聞社の女性記者さん及び、数名のカメラマンの方々が取材のため待ち構える中、市役所のお歴々はもとより、北広島市長の上野様自らのお出迎えを頂き、驚くやら恐縮するやらで記念撮影のフラッシュに驚き、様々な取材質問にたじろぎ、「宮原様、一言ご挨拶を」と、と求められて一瞬絶句、あげくに沢山の記念品の贈呈を受けるに至っては、驚きと感激でサラリーマン現役時代にも無かったような緊張的一幕となりました。

かくして15日間の「おためし移住体験」が始まったわけですが、実はこの移住体験の参加条件の一つに「日々の生活体験の印象や感想」を記録して、毎日市役所宛てに「モニター報告」として、数枚の写真を添付してメールを送信することが義務付けられており、これは少々煩わしい作業ではありましたが、自分のノートパソコンを持参しておりましたので、何とかノルマを消化した結果、そのモニ

ター報告15日分の全てが市役所の公式ホームページに1年近く掲載されることとなり、このような経験は初めてのことであり、なにやら気恥ずかしい思いで一杯でありました。

暮らして見ての印象ですが、まず北広島市の利点の一つは札幌市に隣接する人口6万人弱の地方都市にて、北広島駅から札幌まではJR快速電車でわずか17分の近距離ベッドタウンという足場の良さにあり、またあまり田舎過ぎず、かと言ってあまり大都会過ぎない閑静な住宅街の環境は、穏やかでゆとりある生活を送りたいと考える中高年層にとっては大きな魅力となるでしょう。

また市内には、かの有名な「札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース」を含めて8カ所のゴルフコースが車で10分～20分の近場に点在しており、車で30分～40分走れば、近隣の町村にも廉価にプレー出来る沢山のゴルフ場があり、また北海道のこの時期は、平均気温が朝晩で15度前後、日中でも20～25度前後で、湿気が全く感じられず涼やかな高原風が吹き渡るなか、混まないコースで前後を気にすることなく、夫婦でゆったりとプレーを楽しむことが出来、料金は輪厚コースを除く、市内のコースでセルフプレー7,000～9,000円前後、午後一番のセルフスルーなら5,000円前後、近隣の町村コースならば、5,000円以下の金額でプレー出来ますので、ゴルフ好きの方には願ってもない環境と言えるでしょう。

ところでこの度の移住体験には、私のゴル



フ仲間で、同じ埼玉の鶴ヶ島市で地場企業を
経営し、「南の会」の会員でもある高山順一
夫妻が、7月6日より中5日間だけ「おため
し移住体験」に同居人として参加してくれる
ことになり、6日の3時半に飛行機で千歳空
港に着き、レンタカーを借りて走り、夕刻5
時に私達の「おためし移住住宅」に到着。

夫妻は仕事の関係で10日に帰るため、中3
日間を共同生活するなかで、最初の2日間は
4人で市内の異なるゴルフ場を巡り、ゴルフ
初心者の女房と100叩きゴルファーの私達夫
婦をハイレベルな高山夫妻が丁寧に指導して
くださり、皆でプレーを大いに楽しみ、最終
日の9日には、札幌市南区の異色の動物園巡
りや定山溪温泉での日帰り温泉入浴、隣の恵
庭市にある銀河庭園の薔薇園散策や、緑の牧
場での動物との触れ合い、夜は駅前にある異
なる居酒屋巡りで、毎晩「大宴会」と目まぐ
るしいけれど、とても楽しい5日間の「共同
生活体験」を無事終了し、高山夫妻は埼玉へ
帰られました。

話を市内における様々な生活体験の話に戻
しますが、私達夫婦にとって最も印象深かつ
たものの一つが市内にある特別天然記念物の
原生林を切り開いて敷設されたサイクリング
ロードの「エルフィンロード」(市内全長約8.1
km)を住宅常備の2台の自転車で走り、市内
を超えて札幌まで続くロードの途中で折り返
し、往復20km強を完走出来たことです。

遊歩道を兼ねたこの道路を包み込むような
周囲の原生林のロケーションの素晴らしさは
まさに一見の価値があり、ぜひお勧めしたい
観光スポットです。

次のお勧めは隣接の恵庭市にある恵み野の
街と、北広島市の大曲の街にて、レンタサイ
クルでそれぞれの町の住宅街を別日に周遊す
ること約1時間半、7月はまさに道内の花の
最盛期を迎え、双方の町の至る所、各個人の
家庭がこぞって素晴らしいガーデニングに取り
組んでおられ、薔薇やラベンダーやその他、

名も知らぬ無数の花々が満開にして、百花繚
乱と咲き乱れ、芳ばしい花の香りが町の至る
所に溢れており、町全体を美しい花々で覆い
尽くそうという、町民の皆さんの取り組みの
心意気を感じられ、本当に良い時期に北海道
を訪問し、このような素敵な街並みとオープ
ンガーデンを探索する機会に恵まれたことを
幸せに感ずる一日となりました。

次に北広島市の名前の由来ですが、約120
年前に当時の広島県民が初めてこの地に入植
し、艱難辛苦の開拓使を経て現在の市の基礎
を築いたことがその名の由来であり、現在の
広島県東広島市とは、姉妹都市となっております。

また北海道のような寒冷地には米は育たぬ
と言われた明治時代に、この地の篤農家にし
て、郷土の大恩人ともいえるべき、中山久蔵氏
が稲の品種改良に取り組み、これに成功し、
この地が寒冷地稲作の発祥地となったこと
や、かの有名な札幌農学校の教頭であった
S. クラーク博士が帰国に際し、この地を訪
れ、学生達に残した、「青年よ、大志を抱け」
の名言が立派な記念碑として市内島松に建立
されていること、そしてその名言がそのまま
市の標語「大志を抱く街、北広島市」として
掲げられていること等、市内観光で各所を周
遊するなかで、様々な北海道史の一端を勉強
させていただく機会に恵まれました。

その他の市内生活環境としては、市内に私
立の道都大学があり、学園都市としても機能
しており、また駅前には大きな多目的ホール
を備えた立派な図書館があります。

また市内各所に農産物直売所があり、新鮮
な野菜、果物を廉価に購入出来ることや、今
や「国民的スポーツ」といわれるまでになっ
た「パークゴルフ」のコースが、市内に5カ
所、全て芝が張られて綺麗に整備されてあり、
また北広島クラッセホテルには、一般に開放
された「フィットネスクラブ」もある等、中
高年層の健康管理には打ってつけの施設が

揃っておりました。

スポーツのあとの汗を流すには格好の日帰り入浴温泉も数カ所あり、どこも600円前後で利用出来ます。

このような環境のなか、私達夫婦は15日間の滞在をフル活用し、ゴルフは5ラウンドを消化し、市内周辺の観光地巡りや、サイクリング、ラーメン食べ歩き、日帰り温泉巡り、動物園や農園、牧場巡りを体験、また遠隔地への旅行としては、26年前に転勤族として勤務経験のあった稚内に一泊宿をとってドライブし、昔の部下や懇意にしていた取引先の社長と再会して旧交を温め、帰路に美瑛と富良野を観光、別日には小樽まで走り、大学時代の親友夫妻を訪ね、両夫婦で俱知安、ニセコまで足を伸ばし、誠に楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

私は今年の秋で「古稀」を迎えますが、結婚生活41年目にしてはからずもこの様なシーズンステイ体験のチャンスに恵まれ、女房共々素晴らしい思い出を当地にて作ることが出来ましたことは、残りの余生においてもなかなか



ニセコ羊蹄山

か味わえない貴重な体験であり、まさに二人にとっての「フルムーン旅行」となりました。

南の会の皆様におかれましては、海外でのロングステイ体験は勿論のことですが、近年益々盛んになりつつある国内のシーズンステイも、なかなか味わい深いものがあり、是非チャンスを見つけて経験されることをお勧めいたします。

私のささやかな体験情報が、少しでも皆様のお役に立つことを願ってやみません。

以 上



ミャンマーへの旅(チェンマイからの小旅行)

関東甲信越支部 No.1108 山田 智久

1. 動機

今年の2月、チェンマイ滞在中に隣国への小旅行を試みた。タイの隣を調べると

- ・陸路：4カ国(マレーシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー)
- ・海路：3カ国(ベトナム、インドネシア、ブルネイ-近接国のみ)

の7カ国がある。未訪問国で、最近話題の多いミャンマーを選んだ。

(ミャンマーは民主化により、海外企業と、観光客が急増中と聞き、早目に旅行したくなった。特に、ヤンゴンではホテル不足で宿泊料も上昇中らしい。)

2. 旅行計画

<旅行先>

小旅行なので、当初は、ヤンゴン3泊のみを考えた。しかし、ガイドブックを見るうちに、ミャンマー最大の見所は仏塔や寺院が多いバガンであること。旧王宮(日本軍が一時駐留)があるマンダレーも見逃せないことから、3都市10日間にした。

<ビザ取得とホテル予約>

ビザ取得に、短期間でも計画書(日程、宿泊地、交通機関、ホテル名)が必要だった。

ホテルはいくつか経験したく、宿泊地ごとに予約方法を変えてみた。

- ・ヤンゴン：現地旅行会社(PLGトラベル)にメール申込み(米ドル支払)。
- ・バガン：ネット旅行会社のAgodaとBookingに申込み(Expediaは未扱い)。
- ・マンダレー：現地で見つける。

<移動手段と通貨・両替>

航空券は、チェンマイよりバンコク経由でヤンゴン入国、マンダレー出国とした。

国内移動は、航空機は遅延が多いので、便数が多い高速バスを選択した。

現地通貨は米ドルが必要で、両替率も高額紙幣(100\$)のほうが、低額(1~50\$)より、有利との情報もあった(実際には、差額は僅かで、日本円も現地で両替可能)。

3. ヤンゴン

<シュエダゴン・パゴダとスーレー・パゴダ>

高さ100mの黄金色をしたシュエダゴン・パゴダはミャンマーの宝と言われ、街中からよく見える。鐘の部分には純金プレート5000枚が使われ、先端部には76カラットダイヤと6000個の宝石があるらしい(内部は見学できず)。



シュエダゴン・パゴダ(サクラタワーより)



境内を歩く若い修行僧

境内見学には、入口で靴を預ける。裸足で、広い大理石の床を歩くのも気持ちが良い。

境内にある仏像の前では、多くの人がお祈りをしている。5～6歳位の子供が、一人で真剣に祈る姿を見ると、ここは真の仏教国とを感じる。時折、若い修行僧の行列も見かけた。

自分の誕生曜日の仏像に、年齢数だけ、水掛けする姿も見られる。該当曜日の仏様に水掛けすると、俄か信者の気持ちになった。

街の中心部にあるスーレー・パゴダには勤めや、買い物帰りに立ち寄る人も多い。お祈りが終わると境内は憩いの場となる。よく市民に溶け込んでいる。

<サクラタワーからの眺め>

市内中心にあるサクラタワーに上った。20階建ての高層ビルで、日本企業や国際協力事業団が入居している。最上階のレストランか



水曜日の仏像への水掛け風景

らは、ヤンゴン市内が一望できる。夕暮時に上ると、暗闇の中にパゴダがライトアップされ、黄金色に輝く夜景が素晴らしかった。

<国立博物館と市場見物>

ミャンマーの歴史や、工芸品を見たく国立博物館に行った。入場者は少なく、ゆっくり見て廻れる。昔、聞いた「ビルマの建琴」も伝統楽器の陳列室にあった。

ボージョーアウンサン・マーケットを散策した。欧米人の観光客も多く、ミャンマーのお土産品が販売されている。また、夕方には、路上の大きなテーブルで、揚げ物や果物を、多くの人が食していた。活気がある様子は、昔のバンコクが思い出される。

路線バスの中には、日本の中古バスも見かける。私の地元「神奈中バス」を見つけると、変に懐かしく感じた。



市場付近の風景(夕食材売り)

4. バガン(仏教遺跡群)

<バガンで3泊>

大小、数千もの寺院・仏塔が林立するバガンには、欧米人の観光客も多い。しかし、航空機の国際線乗り入れが無いので、思ったほど、観光地化はしていない(農村の感じで、観光バスも少ない)。遺跡巡りと、日の出／日入りをゆっくり見るために、ニャンニューに1泊、オールドバガンに2泊した。



バガンの寺院・仏塔群(この風景が続く)

<遺跡巡りとサンライズの眺め>

1日目は馬車をチャーターした。数多い遺跡をのんびり見て廻れる。8箇所ほどの遺跡を8時間かけて見て廻った。寺院に着くたび、馬車を降り、膨大な数の仏像を見て廻る。

サンライズも人気らしく、夜明け前に、高い寺院の展望台に登った(懐中電灯が必要)。30分位待つと、欧米、アジア人の外国観光客で一杯になり、朝日が射すと広大な草原と仏塔群が良く見える。夜明けと共に、地平線から気球が泡状に浮き出てくる。遺跡群を眺める空中散歩らしい(後日調べると料金は45分、320\$らしい)。



急峻な寺院の階段(60~70段登る)



遺跡巡りの馬車

<サンセットとスクーターでの遺跡巡り>

イワラジ川が見下ろせるレストランでサンセットを眺めた。川岸には、ライトアップされた寺院も見え、静寂感も味わえる。韓国からの団体客が食事をしながら操り人形劇を見ていた。

宿泊ホテルでスクーターを勧められ、自転車代わりにレンタルした。初めは躊躇したが、交通量は少ないので、自然の中の走行は快適だった。



サンライズを見る人々と気球

5. マンダレー

<広い旧王宮と市場>

マンダレーはミャンマーの第2の都市で、旧王宮(最後の王朝)は、周囲が濠で囲まれ、一辺が3kmの正方形である。バイク・タクシーに乗り、周囲を走ると広大さに驚く。1942年に一時、日本軍も使用したらしい(インパール作戦)。

マンダレーはミャンマーの農産物や、魚肉類等の集約地でもあるので、市内には数多くの市場がある。散策中、食料品保存用の雪氷を車から降ろしている光景がみられた。

<ホテル探し>

中心の鉄道駅付近でホテルを訪ねると、若い女性が外国人ホテルまで案内してくれた。満室が分かると別ホテルを調べ、ホテル専用車で宿泊先まで送ってくれた(丁度雨が降り出したので大変助かった)。1時間くらいの出来事だが、ミャンマー人の親切さを実感した。



運んだ氷を車から下す人(市場で売る?)

6. 現地交通とWIFI環境

バガンへは夜行バスが数多くあり、夕方、ヤンゴン(長距離バスターミナル)を発つと、早朝バガンに着く(9時間)。夜間は交通量が少なく、定刻に着いた。ヤンゴンの長距離バスターミナルはとても広く、市内からも遠い(車で1~2時間)。個人でバス乗り場を探すには苦勞する。

市内移動は殆どタクシーで、合計15回利用した。長距離バスターミナルで、指先にペンで数字を書いて料金交渉している人がいた。私も試みたが、実に面白い。3種類の指先に希望値を書き、指を順番に差し出すと、すぐに応じてくれた(昔の価格交渉術かも)。

ホテルで空港行きタクシーを呼んでもらうと「料金は前払いにせよ」と教えてくれた。最短ルートを走るのと、料金トラブルを避ける方法かもしれない。

ホテルでのWIFIは順調に利用できた(但し、通信速度は少し遅く、送電系の瞬断も何度かあった)。

7. 終わりに

ミャンマーを旅して、大都会のヤンゴンで夕暮れの静寂な雰囲気や、仏教が人々に溶け込む様子、現地の人々の優しさを体験できた。また、馬車での遺跡めぐりや、夜行バスの乗車等にもチャレンジし、若き頃の旅を思い起こせた。

チェンマイから旅行費用は一人当たりの交通費(航空券+現地交通)は3万円、宿泊費は3万円だった(食事ほかは含めず)。

初めてのウズベキスタン

九州支部 No.1619 鯨島 和枝

「南国暮らしの会」に入会して以来、色々な催しに参加させていただき、昨年の忘年会が1泊であり参加した時のこと、民宿経営のMさんから「ウズベキスタンで日本語教師をやってみませんか？」と皆さんに声をかけられ、行ってみたいなーと手をあげたのです。

妹に話すと元気なうちに「行ってみよう」と即答であり、私も決心、それからMさんにいろいろお世話になりました。5ヵ月後にはウズベキスタンへ…。

ウズベキスタンってどんな国

ウズベキスタンというと青の都サマルカンド、中世の世界にタイムスリップしたようなブハラ、ヒヴァを思い浮かべる。しかし華やかな一面、ウズベキスタンは世界第4の面積を誇った湖、アラル海の消滅という20世紀最大といわれる環境問題を抱えているとガイドブックに記されている。

ウズベキスタンの最大の魅力は壮大なイスラム教建築群、空に高くそびえるミナレット、美しい装飾タイルで飾られた壁や印象的な青いドーム、そして砂色した町並み、シルクロードに最も近いイメージではないだろうかとも記されている。

「のりこ学級」って何？

ウズベキスタンに仕事で赴任していた大崎重勝さんが、退職後の1999年に妻の紀子さんの名前をつけて作った小さな日本語学校です。生徒の年齢は7歳から30歳まで様々、教室は25人くらいが座れる小さなもの、授業料は無料。

「子供達がいつでも集まれる、楽しい場所にしておいて欲しい」という大崎さんの言葉は今も「のりこ学級」の方針になっています。

一方で、生徒の中から日本語弁論大会での優勝者、日本語能力試験の合格者、日本への留学生もだしており、ウズベキスタンの日本語教育界でも注目されています。のりこ学級の存在が子供達の楽しみを増やし、将来の夢をひろげています。

「のりこ学級」へきませんか？

日本語教師募集!!

のりこ学級には常に先生がいるわけではありません。のりこ学級の生徒達はいつも先生を待っています。本職の日本語教師でなくても大丈夫。子供達と遊ぶだけでも、歌を歌うだけでも大丈夫。子供達は喜んで、沢山のことを学びます。生徒達にとって全ての日本人が大切な先生であり、大切なお客様です。

ただし、渡航費、滞在費、その他諸費全て自己負担のボランティアです。日本語教師の方、教師を目指している方、子供好きな方、国際交流をしてみたい方、ウズベキスタンの文化に触れてみたい方は是非いらしてください。1日だけでも大歓迎！バックパーカーの方も旅の途中で立ち寄ってみませんか？

「リシタン」ってどんなところ？

ウズベキスタンの首都タシケントから飛行機で1時間、車で5時間、峠を越えた先にある、緑ゆたかなフェルガナ州に属する陶芸で有名な町です。

「リシタン陶器」は植物由来の美しい青色と美しい模様が特徴で、現在世界から注目されつつあります。また、ウズベキスタンには親日家が多く、人々が好意的に接してくれます。リシタンには「のりこ学級」があるため、町中ですれ違う人達から「こんにちは」と声をかけられることもあります。

「のりこ学級で」過ごした3週間

私と妹は教師の資格は持っておりませんが、シニアボランティアとして日本の遊びでも(お手玉、おはじき、折り紙など)教えてしようと張り切って行きました。

「のりこ学級」で子供達と2週間、1週間は世界遺産のウズベキスタンを観光する予定でしたが、先輩の先生1人に子供達20数名が一生懸命学んでいる姿をみて、これは旅行どころではない…。折角きたのだから子供達と遊ぼうと3週間をリシタンで過ごしたのです。先輩K先生は4月から3ヶ月間、しかも今回で5回目、日曜日はサッカーの顧問までして子供達と遊ばれるベテラン先生。指導の方法を教えてもらい、午前、午後と教室に通い子供達と楽しく過ごしました。遊ぶどころか子供達は50音を一生懸命覚えるのです。ひらがな、カタカナ、漢字まで…。丁度夏休みの為、子供達は口コミで? 増えて35名ほどになりました。午前、午後と熱心に通う子供もあり、教室は座る場所もないほどの賑わい、後では初級、中級とクラスをわけるほどでした。初級クラスは日本語を余りお喋りできませんが高学年はとても上手で通訳をしてもらい多くの子供達とコンタクトできました。まるで日本にいるような感じでした。

お手玉もおはじきもシャボン玉もとても喜ばれました。折り紙は今までの先生から習ったと船や飛ぶカエルさんまで作ってくれ吃驚しました。ノートの紙でチューリップの花まで…。子供達の夢はやはり日本で勉強したいことだそうです。しかし経済的にほとんどの子供は無理なのです。日本語弁論大会で入賞してどなたか日本に招待してくれる方のチャンスを待っているのです。子供達の夢が1人でも多くなえられますよう祈る他ない私ですが南国の会のMさんはすでにお二人の方をホームステイ(3ヶ月)され、のりこ学級での先輩K先生も15歳の男の子を現在ホームステイ中です。(大阪在住)

経済的余裕があり国際交流をしてみたい方は是非短期間でも招待して欲しいものです。日本語が上手ですので日常会話には不自由ない可愛い子供達です。



子供達の話ばかりになりましたがリシタンの町は首都タシケントから車で7時間かかった遠い遠い町でした。50メートル先はキルギスの国境がみえるのです。

広い道路、日本では考えられない広い一軒一軒の敷地、敷地内にもアンズの木やさくらんぼの木、ブドウの木があり収穫時の来訪者は新鮮な果物が食べられラッキーだそうです。

私達も校長先生宅で最後のさくらんぼを頂きとても美味しいでした。アンズの木も珍しく、10月はブドウの季節です。とにかく果物が豊富な国、乾燥果物やクルミ、アーモンド、ヒヨコマメ等がバザールには所狭しと並んでいました。

でもやはり衛生面はあまりよくありません。ハエがぶんぶん飛び交っています。

紙、水、電気の大変な国です。日本の昔を思い出すほど紙も質が悪く、水は電気でくみあげますが洗濯等はため池から汲んできたのでします。電気も家の中は何か電灯がありますが街灯等はまったくなく、真っ暗です。車のライトの灯りだけが頼りのようです。

蚊というより何か小さな虫やダニがいて後遺症に悩みましたがようやく全治しました。

食事も家庭料理でしたが余り美味しいものではありません。いや日本人の口に合わないのかもしれませんが。何しろお腹を壊すと大変ですので我慢、我慢で美味しい料理も何も食べませんでした。バザールにも2回ほどいきましたがただ見て回るだけ…。

物価は安いのですが日本人には何でも高いわれ、信用できませんでした。

陶器は流石に色合いと繊細な模様には感心しましたが、これまた値段も高々と…。

記念に壁掛けを買っただけでした。

以前テレビ「日本人が99パーセント行かないウズベキスタン」と放映されていたの

で、人が行かない国で24日間も生活できたことは最初で最後の体験だったと感謝しています。私達は鹿児島空港からインチョン空港まで1時間20分、それから8時間の搭乗でタシケント空港まででしたが、成田からは直行便もでていたとのことです。時差は4時間、近いようで遠い国でした。

でも機会がありましたら親日家の多いリシタンの町へ行って「のりこ学級」を覗いてみてください。きっと子供達から元気なパワーをもらいますよ。

観光をしなかったため楽しい報告が出来ませず残念ですが……。

ダバオ、ペナン、チェンマイかけ歩る記

関西支部 No.1719 安藤 元二

皆様ごきげんよう？

南国暮らしの会には先月初めて夫婦で例会、懇親会に参加させて頂きました。実は2年程前「わかやまNPOセンター」の活動の中で、フィリピン・ダバオで介護、ロングステイ、学校、病院などに関係されている小村さん(NPO海外介護情報センター)と知り合い、現地を案内して頂きました。折しも日本の経済が停滞し、東南アジアの成長と熱気が注目されており、私達も“近場”の国々を勉強したいと思っている時期でした。

ダバオ市は常夏、年中30度前後の気候で治安も良く、フルーツ王国、物価は安く、戦前から日本と関係が深いと伺っていましたがまさにその通りで各種施設やサマール島の見学のほかダバオでロングステイをされている方々とも交流させて頂きました。戦前日本人のマニラ麻工場記念館や日本人のお年寄りに24時間3人付添(月約15万円)いただいている介護施設なども訪ねましたが、ビックリしたのは女性の園長さんが経営されている郊外の1ヶ月数万円の日本人の方も世話になって

いる広大な高齢者施設で、お年寄りの幼稚園といった雰囲気です。フィリピン特有の助け合いの心を深く感じた次第であります。

宿泊はカサ・マリアというホテル(民宿?)で在住の大橋さんが中心になって運営されておりましたが、多くの日本人の集まる場でもあり、一緒にゴルフに誘って頂いたりいろいろ交流、情報交換をさせていただきました。その時で中富さんご夫婦とも知り合い「南国暮らしの会」を紹介いただいたのが当会との出会いとなりました。

引き続き海外ステイアーを訪ねる流れの中で昨年4月に私共はマレーシアのペナン市のロングステイと住宅事情、医療施設等を見学に出かけました。現地ではココナッツの会にお世話になりましたが、イスラム圏ですがやはり治安が良く、ダバオと同じく英語圏という選択でもありましたが、ロングステイアーのお宅訪問や女性の不動産業者に色々な分譲マンション、賃貸住宅(100㎡で月5~6万円)等も案内頂きました。また、セブやチェンマイから来られている日本人の方々と多く

知り合い、種々の情報交換や楽しい時間を過ごすことができました。その中で、東南アジアでも多く日本人ステイアールの人気を得ているタイのチェンマイの話が出て今年7月の視察?となった訳であります。まだ社会的な仕事もあり短い日程ではありましたがチェンマイは予想以上に親しみの多いところでありました。治安の良さはウリの一番ですが、日本料理店、居酒屋などの多いこと、マッサージは各種格安で親日的、数多い仏教寺院は日本に比べて金色極彩色でビックリしたもののお坊さんも多くなじみやすい街であります。フィリピンで言えばジープニーにあたる赤い乗合タクシーのソンテウや三輪オートバイのトゥクトゥクも料金交渉の手間もいらず(1回1人70~170円)下駄がわりという雰囲気でした。感心したのはチェンマイ・ラム病院、私立で評判の良い大きな病院ですが「受付」「薬局」「会計」など日本語で大きく表示され日本語スタッフが多く保険(日本の保険証でもカードでも)の世話も行き届き治療スケジュールも早くレベルも大変高いようです。



ゴルフの方は日程の関係で半日しかとれず市中心部に近い「スタードーム」をミントトラベルの現地情報通のジョンさんをお願いして予約して頂き、丁度岸和田から来られてい

た日本の方と後半一緒に回ることができ、池ポチャなどもありましたが現地ゴルフの雰囲気を味わえて良かったかと思います。

そこそこの都市でコンパクトかつ街は活気に満ち、あえてゼイタクをいえば日本からの直行便がないこと、及び乾季など未経験の季節の未知の部分であったかと思います。現地では当会のチェンマイ支部長の伊藤さんとお話しでき、また友好団体のCLLの例会に出席したりメンバーの南川さんのお宅に寄せていただくなど、有意義な一時を過ごせたのも南国暮らしの会の皆様の情報やお力添えを頂いたおかげと深く感謝いたしております。今後ともよろしく願います。有難うございました。 合掌



南 国 写 真 サ ロ ン



グレート・オーシャン・ロード(オーストラリア)
No.434 大野 悦子氏



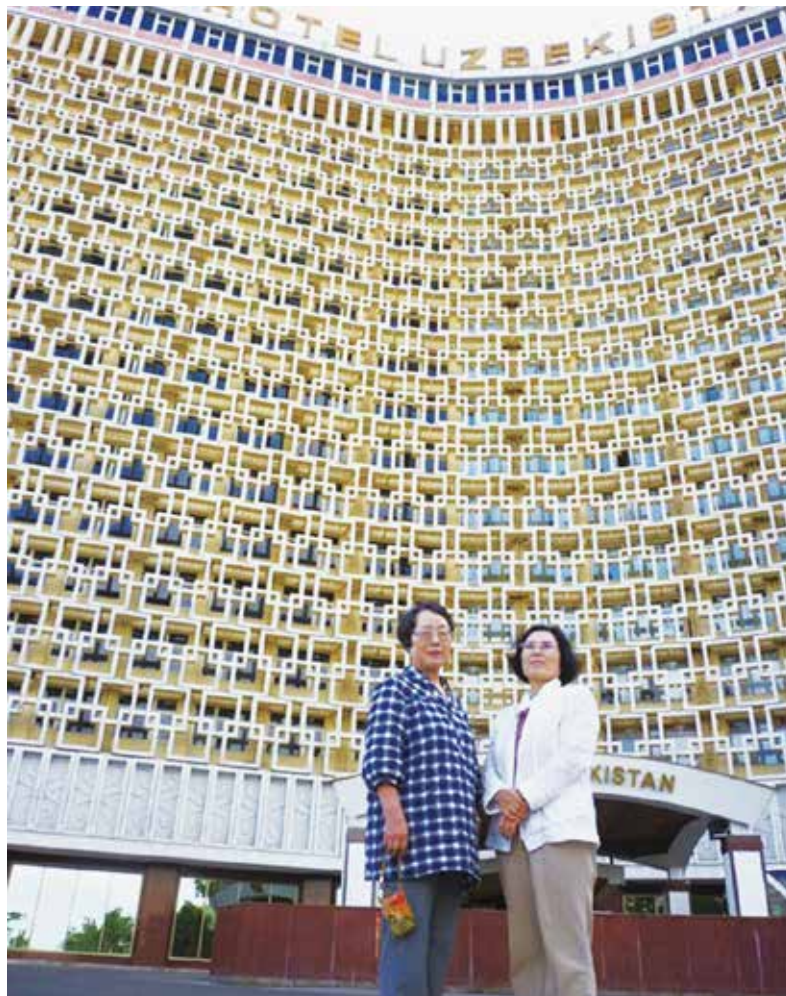
ウェーブ
No.581 朝永 清寿氏



雲南省大理の古城
No.1309 青木 一義氏



バラ園
No.1207 宮原 正宇氏



ウズベキスタン
No.1619 鮫島 和枝氏



モニュメントバレー
No.581 朝永 清寿氏



シュエダゴン・パゴダとヤンゴン市内
No.1108 山田 智久氏



ハワイ
No.1016 村林 修次氏



傘祭り(チェンマイ)
No.1578 山本 雅巳氏

※お詫び:編集の都合上、掲載されなかった写真をお送り頂いた会員にはご容赦のほどお願い申し上げます。

支 部 便 り

北海道支部便り

支部長 No.1285 桂 裕章

26年度南の会北海道支部総会 開催報告

- ・ 日 時 平成26年 6 月14日(土)
13:15～16:00
- ・ 場 所 かでる 2・7 940研修室(9階)
札幌市中央区北 2 条西 7 丁目
- ・ 参加者 20人
- ・ 議 事
 1. 支部長の挨拶及び支部長会議報告
 2. 会計報告
 3. 会計監査報告
 4. 役員改選
議案 1 号～議案 4 号とも承認。
 5. その他皆様からご意見等
 6. 新規会員紹介
- ・ 情報交換
- ・ 会 費 100円
- ・ 懇親会 16:30～「魚河岸 甚平パセオ店」
札幌市中央区北 6 条西 4 丁目 パセオ



次回は秋に山形県あつみ温泉で開催を決め、翌朝解散しました。

東北支部便り

支部長 No.498 氏家 孝

平成26年度第 1 回情報交換会の開催

平成26年 6 月 1 日(日)

福島県福島市 飯坂温泉

「伊東園ホテル飯坂叶や」

参 加 者 #1027 佐藤周司 #1356 小松 実
#1666 舟田照夫 #498 氏家 孝

午後 4 時から開催。

- ・ フィジー島滞在報告
(カメラをプールに落して、画像なし)
- ・ ベトナム山村滞在報告
- ・ チェンマイ・ゴルフ参加等
引き続き懇親会(3名)の席でも話が弾みました。

関東甲信越支部便り

支部長 No.1118 肥後 憲尚

関東甲信越支部 役員は 6 月より新体制(17人)で発足しました、最終的には20人体制で運営する予定です。

支部長 肥後 憲尚
副支部長 永田 隼人
副支部長 寺田 光江
他 役員 14名

今期は会員皆様のご意見、提案、要望等をお聞きして、サロン会参加者がまた参加したくなる様な、面白く楽しい会を目指しますので皆様の御支援宜しくお願い致します。

行事予定

- ①サロン会は毎月開催
- ②この指とまれ積極的に推進
海外 1 回
国内1泊旅行 2 回
ミニこの指とまれ 数回
- ③パソコン教室の拡大
- ④テニス同好会会員の拡大
- ⑤11月 ロングステイフェア
支部として積極的支援

近年のサロン会参加者の状況を見ますと、若い会員番号の方が多く喜ばしい事ですが、反面古い会員の参加者が極端に減少しておりこれらの問題も含めて今後の課題として検討して行きたいと考えております。

東海支部便り

支部長 No.843 土井 研一

1. 新年度スタート

4月の東海支部総会で支部長が交代し、新しい体制がスタートしました。

また山田さんのご尽力で支部のメーリングリストn-tokaiを開始し、好調に運用中です。

毎月第2日曜日の定例会・懇親会、定例会翌週月曜日の平日サロン会などは従来通り開催しています。

4月に名古屋の「チェンマイ・ロングステイセミナー」に参加しました。

5月に村田さんのご尽力で春季ゴルフ大会を豊田CCで開催しました。

7月に定例会会場の「ウィル愛知」で女性団体登録を更新しました。登録されると会場手配で優先されます。

2. チェンマイ・ロングステイ・セミナー

4月27日に名古屋の全日空ホテルでタイ政府観光庁主催「チェンマイ・ロングステイセミナー」が開催され、募集人数400人のところ参加人数550名で大盛況でした。

東海支部も会員募集活動の一環としてブース



会場の様子(川地さんの最新情報やチェンマイでの過ごし方が好評でした)



受付の様子(手作りの展示物や、女性中心の受付で活況でした)

を出し、川地さんがパネラーとして参加しました。

討議は川地さんの経験談を中心に進み、活発に質疑応答がありました。

配布資料として「入会のお誘い」600部作成、写真などパネル展示品の作成・設営、受付を分担し、本部からの資料も活用させていただきました。

3. バイク旅

(1) タイ一周バイク旅

6月の平日サロン会で村澤さんの小冊子「おじいちゃんのタイ一周バイク旅」が話題になりました。

チェンマイ発着で今年1月から2月にかけてタイ国内を一周。

20日間、7505km、総費用 8万3000円の写真つきの詳細な記録です。

出発する時は生きて帰れない事も想定したそうですが、毎日奥様に電話で無事を報告しながら、言葉の障壁や、オートバイや食事のトラブルを乗り越えて無事にタイを一周した村澤さんの勇気とマイペンライの生き方に驚きました。村澤さんはこの件で地元新聞や信越放送の取材も受けたとのことでした。

(2) インド南部バイク旅

6月の定例会で、榊原さんからインドでのオートバイ周遊の報告があり、小型アルバム30冊を持ち込んでの熱弁に盛り上がりました。

1月8日～2月23日まで友人と2人で関空→香港→ベトナム→ラオス→カンボジア→タイ→マレーシア→インド・チェンナイ→インド南部を海岸沿いにバイク旅→インド・コーチ→関空の約2ヶ月の冒険旅行。

費用合計30万円程度。LCC利用で安くできました。

4. 台中訪問

3月14日から26日まで「この指とまれ」方式で、台湾・台中の振英會館に12名で訪問しました。

ゴルフ、台北・高雄・嘉義など他都市観光、温泉、夜市、市内観光で楽しいひと時を過ごしました。

台中の人は親切で、食事もおいしく快適でした。振英會館のスタッフも親切でバスの無料パス購入、ゴルフの手配、観光の手配などお世話になりました。



振英會館受付にて

會館のトレーニングルームを使って高島さんが自彊体操、川地さんがヨガ体操の教師になって、みんなで教えてもらったことも良い思い出になりました。

関西支部便り

関西支部長 No.173 平山 三雄

関西支部の主要な活動を紹介します。

○4月例会(情報交換会)の開催

「今時のダブルレット状況」大川さん

「海外・国内の健康管理」藤井さん

「ちょこっと英会話」徳永さん

「第九合唱について」井藤さん

それぞれの方から参考になる情報をいただきました。(参加者50名)

「情報交換会」はハワイ・チェンマイ・青春18切符・ITの4グループに別れ質疑応答が行われました。

「懇親会」いつも居酒屋「呑」で賑やかに過ごしました。



挨拶される支部長

○6月総会(情報交換会)の開催

「平成25年度支部活動・会計報告 26年度支部活動計画・新役員体制」

各議案の承認を頂きました。

○例会

「ペナン島ロングスティと近隣国について」

池田さん

「KL医療とゴルフ事情」二瓶夫妻

「情報交換会」はタイ・マレーシアの2グループで行いました。(参加者42名)

17時から「心灯」に場所を移して懇親会を開催し大いに盛り上がりました。



懇親会

○ゆりの会明石ツアーの開催

4月5日(土)11時明石駅集合し、魚棚商店街にてお買い物の後、明石公園の池のまわりの綺麗な桜の下にて宴会。寒さが戻り肌寒い中、おいしいごはん、綺麗な桜を楽しみました。



少し寒そうな花見です

○パソコン教室の開催

5月18日パソコン教室を開催。



設定風景

新規に購入されたポケットWIFI+格安simを会場でインターネットに接続させるデモをしていただきました。

国内外でポケットWIFIの検討されている方は大変参考になったようです。

その後2名の方が購入され悪戦苦闘の末、無事つながったそうです。

○関西トピックス

「nanngoku-west2について」

関西支部では南国メール以外に関西ウエストのグループメールをYahooで活用しておりました。

ところが5月に終了となり、今後どうするか検討する中で、本部より紹介のあったGoogleのグループメールを導入することにいたしました。

これが nangoku-west2 誕生の経緯です。

当初は会員登録の方法が分からず右往左往、作業開始から1週間で約120名の引越し作業が完了。

しかしながら、「メールが来ない」「返信ができない」「グループメールの閲覧ができない」等々かなりの問い合わせがきました。

これも何とかクリアし現在に至っております。

Googleのグループメールの欠点はGmailアドレスを持っていない人は、メールの送受信はできますがnanngou-west2のWeb画面を見ることができません。

過去のメールが閲覧できない欠点があります。

6月総会の案内、出欠確認等本格的に活用しましたが、現在は問題も少なく、なんとか運用出来ております。

「支部長交代について」

支部長の有元さんは監査役に、また新たに支部長に173 平山三雄氏が選任されました。

(以上)

九州支部便り

支部長 No.581 朝永 清寿

○熊本情報交換会

平成26年4月6日(水)、熊本城の桜見物には少し遅かったのですが、熊本市市民活動支援センター「あいぽーと」において熊本サロン会を開催しました。

昨年、熊本日日新聞紙上、「美麗世代」の欄に支部3組のご夫婦を紹介していただいたことで、今回はゲスト9名を加え36名の方が参加してくださいました。



体験発表

- (1) 沖縄と台中でのロングステイ
…………… 3 池田徳三郎さん
- (2) ジョホールバル情報
…………… 1651 田中 節子さん
- (3) アメリカの国立公園を巡って
…………… 1629 春日井愛子さん



懇親会

情報交換会終了後はいつもの「ひゃくしょ



う茶屋」で盛り上がりました。

26名の参加でした。

○第12回そば打ち体験・試食会

平成26年5月6日(金) 福岡市立婦人会館「あいれふ」8階調理学習室に於いて開催されました。

今回は深松名人の奥様にも参加していただき、朝早くからお二人でいろいろと準備をしてくださっていました。メニューもいつものように、蕎麦サラダ、もり蕎麦、おろし蕎麦、そばがきゼンザイと盛りだくさんでした。



○平成26年度九州支部総会&情報交換会

平成26年6月2日、福岡市NPOボランティアセンター「あすみん」に於いて19名の参加者で開催されました。

- ・ パソコン勉強会 10:00～12:00
- ・ 総 会 13:30～14:15
- ・ 情報交換会 14:30～16:00

「セブでの生活」…………セブ支部長

1124 田上篤さん



- ・その他……………支部活動の打ち合せ等
- ・懇親会

「くつろぎダイニング寿里庵大名店」で盛り上がりました。15名の参加でした。

チェンマイ支部便り

支部長 No.239 伊藤 寛

今年のチェンマイは例年に増して蒸し暑い様に感じられます。ゴルフをしても熱中症にかかる寸前のような陽気に青息吐息、スコアは何処かに吹き飛んで行ってしまうと思うのは私だけでしょうか。ここ1～2年でチェンマイは気候だけでなく町の様子も大きく変わってきました。大型のショッピングセンターが3つ(プロムナード、セントラルフェスティバル、MAYA)出来ました。人口はそれほど増えているとは思えませんのでスーパーやショッピングセンターの共倒れが起きるのではないかと心配です。また、車の数が大幅に増えて交通渋滞が発生しています。つい2～3年前には考えられないことでした。物価上昇も激しくなっています、ビールもキャディーチップもドンドン上がって来ています。MAYAのリンピンスーパーで買い物をして生活すると日本に居ると変わらないとの声が出る程です。

さて、南の会のチェンマイ支部が新しい組織で活動をはじめて3ヶ月が経ちます。一番皆さんに影響があったのが会としてのゴルフ部の活動の変更でした。今まではランナーゴルフ場の予約からゴルフ場への行き帰りのソントウやキャディーの手配までゴルフ部で面倒を見てきましたが、今年度からランナーゴルフ場の予約だけをゴルフ部が行いゴルフ場には各自で来て頂くことに致しました。当初多少の混乱が予想されましたが、現在のところ無事大きな問題も無く運営されています。これから来チェされる会員の方も新しい方式を理解していただいてゴルフを堪能されるようにお願いします。(7月末現在チェンマイ滞在会員約55名)

ペナン支部便り

支部長 No.1546 渡邊 照夫

2014年度ペナン支部の役員が決まりましたのでお知らせするとともに、今後ともよろしくお願い致します。

支部長 渡邊 照夫 (No.1546)
副支部長 横山 豊 (No.330)
広報 高木 進 (No.1284)
会計 並木 綾子 (No.1334)
記録 常楽 和子 (No.519)
サロン会 渡辺 洋子 (No.740)
相談役 野一色信正 (No.37)
伊藤 彰 (No.1387)

本年度の活動予定

2014年 6月 総会及びサロン会
8月 BBQ
10月 サロン会
12月 サロン会

2015年 2月 BBQ

その他、会員並びに外部の方からによる情報交換(経験談等)、勉強会(PC教室等)の開催を予定しています。

また、広報活動として内外を問わず、随時継続的にペナン支部の情報発信を行っていきます。

マレーシアは、財団法人ロングステイ財団の調査において、8年連続(2006～2013年)で日本人が住みたい国「世界No.1」に選ばれており、ここ数年、他のアジア地域の人気が高まりつつある中でも一番の人気を誇っています。また、マレーシアの長期滞在ビザ(MM2H)の日本人取得者数においても、2012年は前年に比べて約2倍に増え、国別ランキングで2年連続で首位に躍り出るなど、日本人のマレーシア移住が大変人気を博していることがデータでも裏付けられています。

当地、ペナンでの滞在を考えておられる方も多いと思います。ぜひ、ペナンへ足を運んでい

ただき、会員との交流・情報交換を図りながら
南国暮らしの実現に向けて一步前進してみても
下さい。会員一同お待ちしております。

○追記

マレーシア入国時に許可される
滞在日数について

No.1284 高木 進

最近日本人のマレーシア入国時に許可される
滞在日数について話題になっておりますが、在
日マレーシア大使館、在ペナン日本領事館の担
当者からお話を伺い、下記情報として皆様と共
有させていただきます。

＜滞在日数＞

1度の入国で最長90日(3カ月ではありません)

※2006年以前は3 month(3カ月有効)というス
タンプが押されましたが変更があり、入国日
からninety days(90日有効)というスタンプ
になりました。

※フライトキャンセルや不測の事態で90日を越
えてしまうこともあるかもしれませんので余
裕をもって出国されることをお勧め致しま
す。

＜最長滞在可能日数＞

90日前に一度マレーシアから出国すれば、再
入国した際に原則として90日の滞在許可がも
らえ、最長で180日のマレーシア滞在が可能です。

入国時には必ずパスポートに押されたスタン
プの滞在日数を御確認下さい。

＜1年間に180日とは？＞

マレーシアに入国しようとする日からさかの
ぼって1年間に180日以上マレーシアに滞在で
きません。

＜再入国の回数＞

180日のルールを守っていれば、たとえば30
日の滞在を3回、4回繰り返しても入国はでき
るのが原則です。3回目は許可されないケース
は再入国する日からさかのぼって過去に180日
以上の場合、また何度も出入国を繰り返したり、
怪しい人物と判断された場合、などです。

以上は法律上定められております。ただし入

国管理官の判断はマチマチで180日以上でも再
入国できたり、日本に帰らずとも何度も出入国
を繰り返している方も中にはいらっしゃいま
す。それは偶々ラッキーなことであり、本来の
ルールではございません。出入国の管理はご自
身の責任でお願い致します。

ご質問などおありの際は、直接下記機関まで
お問い合わせ下さいませ。

在日マレーシア大使館 査証部 81-3-3476-3849
(平日午後2時から4時のみ)

ハワイ支部便り

支部長 No.1016 村林 修次

ALOHA

ハワイの6月は一年間の中で一番ホットな時
期かと思います。

日本の梅雨を逃れてたくさんの方がハワイに
見えます。

又 ハワイではこの時期はオフ・シーズンでも
あり滞在費が他の時期に比べて割安でもあります。

今年も大勢の「南の会」の会員さんがハワイ
に來られて、第5回「南の会ゴルフコンペ」を
開催しました。

2008年にハワイ支部開設1周年記念行事とし
てゴルフコンペを開催し16名の方が参加されま
した。

その後数年のブランクごありましたが2011年
から再開して今年で第5回大会となりました。
昨年までは南の会会員のみで実施してしまし
たが今回からはゲストの方も迎えて「2014 第
5回南の会オープンゴルフコンペ」と名称も変
更して6月17日ワイケレGCで開催しました。
(ゲストの方には参加費\$10を負担頂表彰Party
も一緒に楽しんで頂きました。)

結果は 優勝者 川島 徳男(ゲスト)

因みに 第1回大会(2008年) 今野 力男

準優勝 関 久生

第2回大会(2011年) 高田 勝弘

3位 塩川 亨

第3回大会(2012年) 塩川 亨

L・T 村林 昭子

第4回大会(2013年) 稲本 卓三
(敬称略)

そして、その後6月25日にはことしで11年目迎えた「バニアン オープンゴルフ」にも南の会から10名の方が参加して関さんが準優勝、L・Tに飯山やよいさん そしてB・Gの塩川さんなど大活躍されました。皆さんハワイのゴルフを満喫されて約1ヶ月余りのバカンスを楽しみ又来年の再会を約して帰国されました。

ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

緑が多いため田舎の風情を残しているダバオですがみなさんがよく利用するショッピングセンターは2年前オープンした日本での大型ショッピングセンターにひけをとらない近代的なSMラナンショッピングセンター(150,000平米)をはじめフィリピンの財閥アヤラグループが運営するアプリザモールやダバオ初の大型ホールセールクラブS&R(会員制ショッピングセンター)含め10店舗と非常に充実しています。もっとも気になる日本食材は完全に網羅できているとはいえませんがオリエンタルコーナ等設けて陳列されています。

今回はこれらの近代的なショッピングセンターと異なり昔ながらのマーケットをご紹介します。ダバオにはいくつかのマーケットがありますがそのなかで大きなものがアグダオマーケット(agdao)とバンケロハンマーケット(bankerohan)で現地の方は、魚はアグダオそれ以外はバンケロハンと言っている様です。私は時々ダバオ最大のマーケット、バンケロハンに行きますが価格は近代的なショッピングセンターより10%から15%は安い気がします。早朝7時前はその路上に農家の方が作物を持ち込み販売しておりバンケロハンよりさらに10%近く安く販売しております。市場の中はちょうど日本の50年前の市場を思わせる様で懐かしく思います。当然フィリピンですので英語は通じますが普段はグーライ(野菜)、ピーピーノ(キュウリ)、アホス(ニンニク)やお金の数え方も

シンコ(5ペソ)、サイズ(6ペソ)といった様にビサヤ語が飛び交っています。クリスマスシーズン近くになれば路上に店がはみ出し人で賑わい規模は小さいですが東京で言えばアメ横、大阪で言えば黒門市場といった感じです。



大型店SMラナン



SMラナン店内



インターナショナルコーナー

(他のエリアの方はすみません) 9月からは年末に向けショッピングセンターにサンタやクリスマスツリーのオブジェが並び讃美歌が流れ世界で一番長いクリスマスシーズンがはじまります。



バンケロハンマーケット



バンケロハン市場内



早朝農家のお店

バギオ・パンガシナン支部便り

支部長 No.227 斎木 一

もう会員の皆様はよくご存知だと思いますが、日本とは違って南国フィリピンには四季がありません。

大きく括れば乾季と雨季、細かく分ければ、乾季前半(低温の時期)、乾季后半(高温の時期)、それに雨季になります。雨季は台風シーズンでもあります。

北ルソン、以前は台風銀座と言って良いほどの台風が通過する場所でしたが、最近台風の影響少なくなってきました。それでも安心は出来ません。

海拔1500mの高原の町バギオは東南アジア有数の高原避暑地で観光地です。

海拔1000m以上で人口40万人の町は日本にはありませんね。

バギオと比較してパンガシナン州は西に南シナ海に面するリングエン湾のリゾート地帯を有する常夏の南国です。ビーチでは1年中海水浴が楽しめます。

ここ数年、バギオには日本人英語研修生が、パンガシナンでは日本人ボランティアの滞在が顕著に増加しています。どちらでも日本人の存在感が大きくなりました。嬉しい傾向です。

バギオでは都市化が進み、とても住みやすくなりました。反面交通渋滞が激しさを加えています。パンガシナンは今でも滞在費の安さが魅力です。

どちらも日本ではまだあまりなじみがない地名ですが、日本との関係がとても深い土地です。滞在し日本人の足跡を訪ねる楽しみもあります。

支部としては毎年6月から9月までは雨季休暇としてバギオでの活動は休止していますが、10月からは活動再開です。11月から翌年の5月までの乾季はバギオの季節です。

一時中断していたバギオでの小学生への奨学金支給も本年度から再開しました。現在2名を支援しています。支部としてはパンガシナンで大学生1名への通学支援に支部費の一部を活用しています。

部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.996 歌田 晃一

総会も終了し、いよいよ平成26年度が本格的にスタートしました。今期はNPO認証15周年を迎え記念行事を検討中。新任理事メンバーとともに頑張ります。

なお、都庁への事業報告・申請書提出と法務局への変更登記申請は6月に無事完了しました。

<メンバー 7 名>

996 歌田晃一(部会長) 1607 阿部滋敏(副部会長) 1591 肥後信彦(副部会長・経理) 1207 宮原正宇 1309 青木一義 1537 鈴木元恵 1612 堀江健夫

<主な活動計画>

- ・2014年事業計画策定(6月)
- ・NPO認証15周年記念行事の検討と実施
- ・2014年事業計画中期検討(10月)
- ・2015年度体制案・予算案
依頼：12月 ⇒ 検討：3月 ⇒ 承認：4月
- ・理事会開催(6回)
1回：6/14 2回：10/11 3回：12/13
4回：3/14 5回：4/11 6回：5/16
- ・役員・支部長会議開催(5/30予定)
- ・総会開催(5/31予定)

会 報 部 会

担当理事 No.1309 青木 一義

今年度理事役員が大幅に交代した事により会報部会担当理事も以下の通り大きく変わりましたのでご報告いたします。

会報部会長 No.1309 青木一義
No.1108 山田美弥子 No. 513 青木方子
No.1208 澁谷幸一 No.1581 黒川敏彦
No.1578 山本雅巳

経験豊富な担当理事が抜け新しく理事になられた方や経験の浅い理事が就任いたしました。全員で力を合わせ先輩諸氏から引き継いできた会報作りの重責を担っていこうと思っていますので宜しくお願いいたします。

会報は会員皆様からの原稿や写真から成り立っておりますのであらためて皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

又皆様からの会報の問い合わせやご意見がございましたら会報部会長にお知らせ頂けたら幸いです。

会 員 部 会

担当理事 No.1108 山田 美弥子

新年度を迎え会員部会は新しいメンバーでスタートしました。メンバー紹介をします。

No.1108 山田美弥子(部会長)、No.1209 澁谷幸一(副部会長)、No.1388 寺田光江、No.1533 森川文枝、No.1357 黒崎邦夫

会員部会では主に6つの業務に対応しております。

(1)入会資料の送付

入会を希望する方へ関係資料を送付する仕事です。入会希望者からホームページ等で資料請求が来ますので、その事務処理をしています。近年、新聞・雑誌などに当会が取りあげられることも増えており、年間100件ほどに達しております。

(2)入会登録

南国暮らしの会の会員として登録する業務です。入会希望者から入会申込書が届きその方の入金が確認できたら、入会登録を済ませ、新会員に入会書(会員番号通知)・会員証・南の会必携等を送付します。資料請求された方の半数以上が入会されています。

(3)各種届出の受領および管理

休会、再入会、退会、住所変更、メールアドレス変更等に関わる各種届出の受理及び管理業務です。会員の多様な状況に対応しています。

(4)会員名簿、索引の制作

年に1回、会員名簿および索引を作成します。名簿等は会報に同封し会員の皆様にお届けします。

(5)宛名シールの作成

会報部会と協同で会報発送用の宛名シールを作成しています。また、会報を海外支部に発送するため、海外支部長と連絡を取り海外用の宛名シールを作成しています。

(6)会員の継続手続きと表決権者の確定作業

次年度の継続会員手続きを行うとともに、総会に必要な表決権者を確定する事務を行っています。

会員部会では1－3月は会員継続作業が集中し、4月は新年度での入会の方が増加します。この時期は会員部会員総力で会務に取り組んでいます。

なお、会員の皆様におかれましては、住所及びメールアドレス等の変更がありましたら、会員部会へご一報下さる様ご協力お願い申し上げます。

会員部会アドレス：kaiinn.bukai@gmail.com

ネット部会

担当理事 No.1578 山本 雅巳

会員の皆様が楽しく、有益に使っていただくコミュニケーションツールとして南国暮らしの会掲示板(南国BBS)の運営・管理をしています。

1)南国暮らしの会掲示板(南国BBS)をご覧ください

ただくには、掲示板のURL
<http://6244.teacup.com/minaminokai/bbs>

あるいは、グーグル、ヤフーの検索で「南国暮らしの会掲示板」と入力して検索します。

画面から「パスワードを保存する」にチェックを入れた後、パスワードを入力し入室します。

掲示板が開いたら、「お気に入りバー」、又は「お気に入り」に登録すると次回入室する時に便利です。

「お気に入りバー」への登録方法は、掲示板のスレッド「掲示板の使い方、要望、質問」にあります。

パスワードがわからない場合は、ネット委員会へ、「会員番号、氏名」を明記してメールでご請求ください。

ネット委員会のメールアドレスは、mail.iinkai@gmail.com です。

2)投稿の方法

「南国BBS」の画面で、①投稿者名、②自分のメールアドレス、③題名、④内容(本文)を入力したのち、題名の横にある《確認》をクリックし、次に《投稿》をクリックします。

3)掲示板には、現在20個の「スレッド」があり、それぞれのタイトルに沿った情報が投稿されていますので、これらの情報を有効に活用していただくことができます。又、掲示板には、他に「南国暮らしの会関東甲信支部掲示板」、「チェンマイ連絡掲示板」があります。

「南国BBS」は、会員相互の各種情報交換のツールとなりますので、「南国暮らしの会メーリングリスト規約」を順守していただき、会員相互のお役立ち情報を投稿していただくようお願いします。

尚、ネット部会では、会員皆様のメールアドレス管理も行っています、メールアドレスを変更された場合は、ネット委員会へのご連絡も宜しく申し上げます。

広 報 部 会

担当理事 No.513 青木 方子

「南国暮らしの会」の内外の広報を担当します。

友好団体からの情報・(一般財団法人)ロングステイ財団賛助会員としての情報・今年度はNPO認証15周年記念事業と多岐に渡る広報活動の情報を会員の皆様にお伝え致します。

メンバー紹介

513 青木方子(部会長)、1388 寺田光江(副部会長)、1207 宮原正宇、996 歌田晃一(HP担当)、※1118 肥後憲尚(広報委員会委員)

主な活動内容は「南の会」の対外的広報活動として他機関への投稿・新聞・雑誌等の関係情報収集・マスコミ取材窓口です。

更に「南の会」ホームページ作成／修正／保守があり、HP閲覧により新規入会される方が多く、重要な役割を担っております。HPの充実は広報活動の一端を担っていると思います。

今後更に、会員の皆様に旬の情報をお届けできるように、メンバー一同務めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

支 部 推 進 部 会

担当理事 No.1244 金井 修二

スタッフ及び業務内容は以下の通りです。

816 有元義晶、1244 金井修二、1612 堀江健夫

○支部統括・支部活動支援

1. 新年度支部予算の作成と総務部会への提出
2. 支部よりの年間収支報告の受領
3. 年度支部活動報告を求め委員会へ報告
4. 支部長の新任・交代について理事会に申請し承認をうける。
5. 支部の開設・廃止について理事会へ提出・承認を受ける。
6. その他、支部に関連するもので、南の会の窓口として受付を行い、必要に応じて処置する。
7. 役員・支部長会議での支部長の招集と準備及び会議での司会進行実施。

以上の様な、小難しい内容ですが、まずは各支部が楽しく活動でき、南の会の窓口として気楽に連絡を出来るように努力致します。



友好団体紹介コーナー

★財団法人ロングステイ財団

<http://www.longstay.or.jp>

★チェンマイロングステイライフの会(CLKクラブ)

<http://cll.thaijp.net/>

★ワールドステイクラブ(WSC)

<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL

(クアラルンプール) 日本人会

<http://www.jckl.org.my/>

★北ルソン日本人会(JANL)

<http://janl.exblog.jp>

南 国 暮 ら し の 会 支 部 一 覧

2014年 9 月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	498	氏家 孝	takashijuie3322@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1118	肥後 憲尚	higoyoshi@hotmail.co.jp
東海支部	843	土井 研一	doi@rr.ij4u.or.jp
関西支部	173	平山 三雄	hira629@yahoo.co.jp
九州支部	581	朝永 清寿	ktomo581@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_itoh_9@hotmail.com
バンコク支部	—		
ペナン支部	1546	渡邊 照夫	ftxqj863@ybb.ne.jp
クアラルンプール支部	1682	守田 章	akirmori@hotmail.co.jp
マニラ支部	999	中山 恒夫	kazuyo.ukym@gmail.com
セブ支部	1124	田上 篤	3159atsushi@gmail.com
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1016	村林 修次	mura-sakytakyj@d4.dion.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行

編 集 後 記

たくさんの方のご協力を頂き「夏・秋季号」を発行することが出来ました。ありがとうございました。今号は年度初めということで、総会関連及び、各支部がどのような活動をしているか、会本部ではどのような仕事をしているかを会員の皆様に知っていただきたく編集をしました。

現在、国内は6支部、海外は9支部あります。今年はクアラルンプール支部も再開しました。各支部ではサロン会のほか地域ならではの様々な企画を行っており、会員の皆様が楽しく有意義なときを過ごせるよう取り組んでいます。また、北海道ではロングステイを体験出来るようになっています。情報を集めてお試し体験はいかがでしょうか？

会本部では会員の方々の第二の人生が心豊かになるようお手伝いをしています。南国BBS（ネット部会）もその1つですし、会報誌（会報部会）もしかり。総務・会員部会は会の運営が円滑に進むように、広報部会は会員以外の方にも南の会を知っていただけるように活動しています。支部推進部会は各支部の活動支援をしています。部会担当各々はボランティアではありますが、会員の皆様に会を楽しんでいただけるよう努力しています。

今後とも会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「夏・秋季号」編集担当

No1108 山田美弥子 No1581 黒川敏彦

「南国暮らしの会」から`自己責任の徹底!`

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) メールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
 - (2) 会員関係(住所変更など) kaiin.bukai@gmail.com
 - (3) 経理関係(会費、名刺ロゴマークなど) keiri.iinkai@gmail.com
 - (4) その他一般 home@minaminokai.com
- (メールには用件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

[編集委員]

No.1309	青木 一義	No.1108	山田美弥子
No. 513	青木 方子	No.1208	澁谷 幸一
No.1578	山本 雅巳	No.1581	黒川 敏彦

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人(NPO法人)

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



バガンの寺院・仏塔群



のりこ学級

「支部便り」より



東北支部



東海支部



関西支部



九州支部



貝殻持てるトリイトンの神の像（バルベリニ・イタリア）

No923 永田 隼人